

第100回 定期総会

令和6年5月19日(日)



琉球古典音楽 野村流音楽協会

協会本部：〒904-2151 沖縄市松本5-16-3

携帯電話 090-9788-7404

TEL・FAX (098)937-3015

事務局：〒904-0417 恩納村真栄田18

携帯電話 090-1942-5829

EMAIL mamajun777@outlook.jp

協会 WEB

<http://nok-okinawa.jp>

協会 EMAIL

info@nok-okinawa.jp



第100回 定期 総 会

令和6年5月19日(日) 午後1時

うるま市生涯学習・文化振興センター ゆらてく

司 会……宮城秀基 事務局長

会 順

◇御前風斉唱 (かぎやで風節・恩納節・ごえん節・中城はんた前節・こてい節)

【1】総 会

1. 開会のことば…………… 銘苅盛隆 副 会 長
2. 会長あいさつ…………… 宮 城 勝 秀 会 長
3. 免許状授与…………… 宮城勝秀会長、糸数昌治副会長、銘苅盛隆副会長
4. 免許取得者代表あいさつ…………… 仲 嶺 清
5. 激励のことば…………… 宮 城 勝 秀 会 長
6. 来賓祝辞…………… 普久原 均 琉球新報社代表取締役社長
安慶名 久美子 琉球箏曲興陽会会長
7. 審 議 (議長は会長、会則第12条第2項)…………… 宮 城 勝 秀 会 長
 - (1) 令和5年度事業並びに会務報告…………… 渡 口 裕 書 記
 - (2) 令和5年度決算報告…………… 古 屋 順 子 会 計
 - (3) 会計監査報告 ……………兼島兼良 監査委員
 - (4) 令和6年度事業並びに会務計画(案)…………… 仲 田 知 広 書 記
 - (5) 令和6年度予算(案)…………… 比 嘉 いつみ 会 計
 - (6) 会則一部改正……………宮城秀基事務局長
 - (7) 役員の承認……………崎濱秀光理事会議長
8. 表 彰 ……………宮 城 勝 秀 会 長

◎表彰 若衆三線大使

知念清太さん(県知事賞) 大城昇馬さん(琉球新報賞) 永野鈴維寧さん(若衆大賞)

◎感謝状 ◇審査員(師範) 金城光信氏 知念久光氏

◎感謝状 ◇離任 宮城勝秀氏 宮城秀基氏 渡口裕氏

- 9.会長離任挨拶..... 宮城勝秀前会長
10.会長就任挨拶..... 糸数昌治新会長
11. 閉会のことば.....島袋功新副会長

【2】演奏節組

1. 斉唱 揚作田節 東里節 赤田花風節(松竹梅)

2. 独唱

第8回おきなわ伝統芸能 若衆芸術祭	若衆大賞	かぎやで風節	永野鈴維寧
	琉球新報賞	恩納節	大城昇馬
	県知事賞	かぎやで風節	知念清太

新教師	散山節	歌・三線	喜友名朝樹	箏	名護みのり
新師範	仲間節	歌・三線	島袋順一	箏	眞榮田徹也

3. 斉唱 立雲節

目 次

1. 令和 5 年度事業並びに会務報告	1～16
2. 令和 5 年度決算報告書	
(1) 一般会計収支決算書	17
(2) 雑収入等明細書	18～19
(3) 第 38 回組研・舞研合同発表会決算書	20
(4) 第 17 回琉楽奨励賞決算書	21
(5) 工工四販売事業収支決算書	22
(6) 財産目録	23～24
3. 事業並びに会務会計監査報告書	25
4. 令和 6 年度事業並びに会務計画(案)	26～28
5. 令和 6 年度予算(案)	
(1) 一般会計予算(案)	29
(2) 工工四販売事業予算(案)	30
(3) 第 18 回琉楽奨励賞予算(案)	31
(4) 琉球古典野村流音楽協会 100 周年記念事業予算(案)	32
(5) 令和 6 年度 創立 100 周年記念「若衆公演」予算(案)	33
6. 会則の一部改正について	34
7. 支部別会員数	35
8. 本部会員及び事務局員・理事及び監事・支部役員・各種委員会	36～46
9. 琉球古典音楽野村流音楽協会々則(第 1 章～第 9 章)	47～51
10. 慶弔規程	51
11. 「琉球古典音楽野村流音楽協会・師範会」並びに「琉球古典音楽 野村流音楽協会・教師研修会」規定	52
12. 免許審査規程	53～55
13. 琉球古典音楽野村流音楽協会組踊及び舞踊地謡研修部規程	56～57
14. 旅費に関する規程	58
15. 表彰に関する規程	59
16. 工工四監修・編集・校正等に関する要綱	60～61
17. 資料収集編集委員会設置要綱	62～63
18. 令和 5 年度 組踊地謡研修部・舞踊地謡研修部修了者	64
19. 令和 5 年度 教師・師範免許合格者	65～66
20. 令和 5 年度第 17 回琉楽奨励賞合格者	67～71
21. 第 57 回琉球古典芸能コンクール受賞者	72～73
22. 令和 5 年度 第 8 回おきなわ伝統芸能「若衆芸術祭」参加児童生徒名簿	74～75
23. 入部申請	76
24. 歴代会長一覧書	77

令和5年度事業並びに会務報告

自 令和5年4月 1日

至 令和6年3月31日

令和5年度の事業計画は、会員各位のご理解とご協力により、行事や日程の見直し等を行いながら一応の成果をおさめることができました。各位のご協力に対し感謝申し上げますとともに、以下の通りご報告申し上げます。

月	日	曜	時間	事 項
4	1	土	10:00	◎第1回執行部会 場所：読谷村福祉センター 議 題 1.本部年会費について 2.県外受験者の本部受験について 3.創立100周年について 4.その他
	2	日	09:00	◎組踊地謡研修部月例研修会・総会 場所：嘉手納町総合福祉センター 指導者：上間克美 節組：斉唱「かぎやで風節」組踊「孝行の巻」
	8	土	10:00	◎令和4年度会計監査 場所：沖縄市農民研修センター 監事：久場良昌 兼島兼良 新垣和則
	9	日	13:00	◎教師研修会 場所：沖縄市農民研修センター 指導者：佐久田朝雄 節組：つなぎ節、坂本節、仲村渠節、仲節、暁節、 ヨシヤイノー節、仲風節、世榮節、踊こはでさ節
	15	土	10:00	◎幹事会 場所：沖縄市農民研修センター 議題 ① 第99回定期総会について ・令和4年度事業並びに会務報告 ・令和4年度会計収支決算報告 ・令和5年度会計監査報告 ・令和5年度事業並びに会務計画（案） ・令和5年度予算（案） ・令和5年度定期総会開催方法について ② 組踊舞踊地謡研修部部員募集について ③ 年会費について ④ 創立100周年について ⑤ その他
	16	日	13:30	◎舞踊地謡研修部月例研修会

月	日	曜	時間	事 項
4				場所：沖縄市老人福祉センターかりゆし園 指導者：銘苅盛隆 節組：総掛之踊、揚作田之踊、前之浜之踊、汀間とう、 加那ヨ一天川
	22	土	13：00	◎相談役・理事会 場所：沖縄市老人福祉センターかりゆし園 議題 ① 第 99 回定期総会について ・令和 4 年度事業並びに会務報告 ・令和 4 年度会計収支決算報告 ・令和 5 年度会計監査報告 ・令和 5 年度事業並びに会務計画（案） ・令和 5 年度予算（案） ・令和 5 年度定期総会開催方法について ② 組踊舞踊地謡研修部部員募集について ③ 年会費について ④ 創立 100 周年について ⑤その他
	23	日	10：00	◎組研・舞研地謡研修部合同修了式 場所：沖縄市老人福祉センターかりゆし園 組踊地謡研修部修了者 三線 3 名 箏 3 名 笛 1 名 舞踊地謡研修部修了者 三線 7 名 箏 5 名 胡弓 1 名
5	6	土	10：00	◎第 2 回執行部会 場所：A&W 北谷国体道路店 議題 1. 第 99 回定期総会について（各役割分担等最終確認） 2. 年会費について 3. その他 報告事項 1. 顕彰碑参拝について 日時：5 月 20 日 10：30 集合 11：00 開始 場所：那覇市波の上顕彰碑広場
	7	日	09：00	◎「組踊ゆかりの地巡り(歌碑)」 場所：羽衣公園、末吉宮、勝連城跡 指導者：上間克美
	15	月	10：00	◎沖縄三線制作事業協同組合（三線組合）実行委員会 場所：那覇市安里和光マンション 1 階 議題：各小中学校への三線講師の派遣について 総会について（事業計画、他）
	20	土	11：00	◎野村流始祖先師顕彰碑参拝 場所：波の上（旭ヶ丘公園内） 清掃：那覇支部 演奏節組：かぎやで風節、ちゃんな節

月	日	曜	時間	事 項
4	21	日	13 : 00	◎第 99 回定期総会 場所：石川会館大ホール ◇御前風斉唱 (かぎやで風節・恩納節・ごえん節・中城はんた前節・こてい節) 【1】総 会 1. 開会のことば…………… 糸 数 昌 治 副 会 長 2. 会長あいさつ…………… 宮 城 勝 秀 会 長 3. 免許状授 宮城勝秀会長、糸数昌治副会長、銘苅盛隆副会長 4. 免許取得者代表あいさつ……………照屋 武市 5. 激励のことば…………… 宮 城 勝 秀 会 長 6. 来賓祝辞…………… 普久原 均 琉球新報社代表取締役社長 安慶名 久美子 琉球箏曲興陽会会長 7. 審 議 (議長は会長、会則第 12 条第 2 項)…………… 宮 城 勝 秀 会 長 (1) 令和4年度事業並びに会務報告…………… 渡 口 裕 書 記 (2) 令和4年度決算報告…………… 古 屋 順 子 会 計 (3) 会計監査報告 …………… 久 場 良 昌 監査委員 (4) 令和5年度事業並びに会務計画(案)・・ 渡 口 裕 書 記 (5) 令和5年度予算(案)…………… 古 屋 順 子 会 計 8. 表 彰 …………… 宮 城 勝 秀 会 長 ◎感謝状 ◇審査員 上間 克美氏 崎原 盛勇氏 吉野 久一氏 ◇所属会員が15名以上で5年以上継続している研究所長 下地 健士 氏 9. 閉会のことば…………… 銘 苅 盛 隆 副 会 長 【2】演 奏 節 組 1. 斉 唱 揚作田節 東里節 赤田花風節(松竹梅)

月	日	曜	時間	事 項																																
5				2.独 唱 <table><tr><td rowspan="3">新 教 師</td><td>干 瀬 節</td><td>歌・三線</td><td>玉城千佳</td><td>箏</td><td>神 里 利 枝</td></tr><tr><td>子 持 節</td><td>歌・三線</td><td>大城綾音</td><td>箏</td><td>親 田 鈴</td></tr><tr><td>散 山 節</td><td>歌・三線</td><td>波平宇宙</td><td>箏</td><td>伊 志 嶺 香 織</td></tr><tr><td rowspan="3">新 師 範</td><td>仲 間 節</td><td>歌・三線</td><td>大 城 謙</td><td>箏</td><td>並 里 清 美</td></tr><tr><td>仲村渠節</td><td>歌・三線</td><td>徳田泰樹</td><td>箏</td><td>町 田 倫 士</td></tr><tr><td>赤田風節</td><td>歌・三線</td><td>座間味大斗</td><td>箏</td><td>首 里 友 香</td></tr></table>	新 教 師	干 瀬 節	歌・三線	玉城千佳	箏	神 里 利 枝	子 持 節	歌・三線	大城綾音	箏	親 田 鈴	散 山 節	歌・三線	波平宇宙	箏	伊 志 嶺 香 織	新 師 範	仲 間 節	歌・三線	大 城 謙	箏	並 里 清 美	仲村渠節	歌・三線	徳田泰樹	箏	町 田 倫 士	赤田風節	歌・三線	座間味大斗	箏	首 里 友 香
	新 教 師	干 瀬 節	歌・三線	玉城千佳		箏	神 里 利 枝																													
		子 持 節	歌・三線	大城綾音		箏	親 田 鈴																													
散 山 節		歌・三線	波平宇宙	箏	伊 志 嶺 香 織																															
新 師 範	仲 間 節	歌・三線	大 城 謙	箏	並 里 清 美																															
	仲村渠節	歌・三線	徳田泰樹	箏	町 田 倫 士																															
	赤田風節	歌・三線	座間味大斗	箏	首 里 友 香																															
				3. 斉 唱 立雲節																																
	27	土	14：00	◎師範会 場所：沖縄市老人福祉センターかりゆし園 指導者：上間克美、比嘉康夫 節組：かぎやで風節、長伊平屋節、 伊江節一鎖（伊江節、世榮節、垣花節、揚沈仁屋久節） 茶屋節、すき節、通水節、東江節																																
	28	日	13：30	◎舞踊地謡研修部月例研修会 場所：沖縄市農民研修センター 指導者：宮城武碩 節組：稲まづん節之踊、獅子舞、本貫花之踊、鳩間節、 四つ竹、谷茶前、黒島口説																																
			14：00	◎事務局会議 場所：マクドナルド嘉手納店 議題 1 琉楽奨励賞について 2 こども舞踊大会について 3 組踊、舞踊地謡研修部合同発表会について 4 その他																																
6	3	土	10：00	◎第3回執行部会 場所：A&W 北谷国体道路店 議題 1 第58回こども舞踊大会（琉球新報社主催）について 2 第38回組研地謡研修部・舞踊地謡研修部合同発表会について 3 第17回琉楽奨励賞について 4 その他 報告事項																																

月	日	曜	時間	事 項
6	4	日	09 : 00	◎組踊地謡研修部月例研修会 場所：読谷村総合福祉センター 指導者：糸数昌治 節組：斉唱 かぎやで風節 組踊：花売りの縁
			14 : 00	◎県指定無形文化財沖縄伝統音楽野村流保存会 総会 場所：北谷町ニライセンター
	7	水	10 : 00	◎沖縄三線制作事業協同組合（三線組合）総会 場所：那覇市沖縄ホテル 議題：事業報告、事業計画、会計予算、他
	10	土	10 : 00	◎幹事会 場所：沖縄市農民研修センター 議題 1 第 58 回こども舞踊大会（琉球新報社主催）について 2 第 38 回組研地謡研修部・舞踊地謡研修部合同発表会について 3 第 17 回琉楽奨励賞について 4 その他 報告事項
	18	日	13 : 30	◎舞踊地謡研修部月例研修会 場所：沖縄市老人福祉センター かりゆし園 指導者：島袋功 節組：諸鈍節之踊、江佐節、女こてい節、花風之踊、 松竹梅之踊、加那ヨ一天川
	21	水	10 : 00	◎野村流合同協議会役員会 場所：北谷町ニライセンター 議題：7 月 2 日の先師先達奉納演奏会について 演奏節組：ちゃんな節、十七八節 今後の取り組みについて
7	1	土	10 : 00	◎第 4 回執行部会 場所：A&W 北谷国体道路店 議題： 1 組研・舞研合同発表会について 2 第 17 回琉楽奨励賞について 3 年会費について 4 その他 報告事項
	2	日	09 : 00	◎組踊地謡研修部月例研修会 場所：読谷村総合福祉センター 指導者：上間克美 節組：かぎやで風節、稲まづん節之踊 組踊：万歳敵討

月	日	曜	時間	事 項																
7			11：00	◎野村流合同協議会先師先達碑前献奏会 場所：那覇市波の上旭が丘公園内顕彰碑前広場 奉納演奏：ちゃんな節、十七八節																
	9	日	10：00	◎第 17 回琉楽奨励賞実技審査 場所：うるま市ゆらてくホール <table><tr><td>銅 賞：55 名 銀 賞：37 名 金 賞： 9 名 会長賞： 3 名</td><td><table><tr><td colspan="2"><審査委員></td></tr><tr><td>与那嶺</td><td>靖（那 覇）</td></tr><tr><td>松川</td><td>亨（浦 添）</td></tr><tr><td>玉城</td><td>巖（宜野湾）</td></tr><tr><td>比嘉</td><td>紀子（石 川）</td></tr><tr><td>崎濱</td><td>秀光（嘉手納）</td></tr><tr><td>漢那</td><td>恵秀（読 谷）</td></tr></table></td></tr></table>	銅 賞：55 名 銀 賞：37 名 金 賞： 9 名 会長賞： 3 名	<table><tr><td colspan="2"><審査委員></td></tr><tr><td>与那嶺</td><td>靖（那 覇）</td></tr><tr><td>松川</td><td>亨（浦 添）</td></tr><tr><td>玉城</td><td>巖（宜野湾）</td></tr><tr><td>比嘉</td><td>紀子（石 川）</td></tr><tr><td>崎濱</td><td>秀光（嘉手納）</td></tr><tr><td>漢那</td><td>恵秀（読 谷）</td></tr></table>	<審査委員>		与那嶺	靖（那 覇）	松川	亨（浦 添）	玉城	巖（宜野湾）	比嘉	紀子（石 川）	崎濱	秀光（嘉手納）	漢那	恵秀（読 谷）
銅 賞：55 名 銀 賞：37 名 金 賞： 9 名 会長賞： 3 名	<table><tr><td colspan="2"><審査委員></td></tr><tr><td>与那嶺</td><td>靖（那 覇）</td></tr><tr><td>松川</td><td>亨（浦 添）</td></tr><tr><td>玉城</td><td>巖（宜野湾）</td></tr><tr><td>比嘉</td><td>紀子（石 川）</td></tr><tr><td>崎濱</td><td>秀光（嘉手納）</td></tr><tr><td>漢那</td><td>恵秀（読 谷）</td></tr></table>	<審査委員>		与那嶺	靖（那 覇）	松川	亨（浦 添）	玉城	巖（宜野湾）	比嘉	紀子（石 川）	崎濱	秀光（嘉手納）	漢那	恵秀（読 谷）					
<審査委員>																				
与那嶺	靖（那 覇）																			
松川	亨（浦 添）																			
玉城	巖（宜野湾）																			
比嘉	紀子（石 川）																			
崎濱	秀光（嘉手納）																			
漢那	恵秀（読 谷）																			
	10	月	14：00	◎沖芸連（沖縄芸能連盟）役員会 場所：琉球新報・会議室																
	12	水	13：00	◎教師研修会 場所：読谷村総合福祉センター 2 階ホール 指導者：佐久田朝雄 節組：本田名節、眞福地之はいちやう節、揚高禰久節、 仲風節、白鳥節、與儀前ン田節、瓦屋節																
			14：00	◎沖藝連（沖縄県芸能関連協議会）理事会 場所：那覇市安里ひめゆり同窓会館																
	16	日	10：00	◎第 17 回琉楽奨励賞（金賞、会長賞） 場所：うるま市ゆらてくホール <table><tr><td>銅 賞：14 名 銀 賞：13 名 金 賞：35 名 会長賞：12 名 選考会： 6 名 胡弓 金 賞： 3 名</td><td><table><tr><td colspan="2"><審査委員></td></tr><tr><td>松田</td><td>盛（北 谷）</td></tr><tr><td>仲間</td><td>稔（具志川）</td></tr><tr><td>金城</td><td>光信（コ ザ）</td></tr><tr><td>吉元</td><td>和男（名 護）</td></tr><tr><td>上間</td><td>巽（本 部）</td></tr></table></td></tr></table>	銅 賞：14 名 銀 賞：13 名 金 賞：35 名 会長賞：12 名 選考会： 6 名 胡弓 金 賞： 3 名	<table><tr><td colspan="2"><審査委員></td></tr><tr><td>松田</td><td>盛（北 谷）</td></tr><tr><td>仲間</td><td>稔（具志川）</td></tr><tr><td>金城</td><td>光信（コ ザ）</td></tr><tr><td>吉元</td><td>和男（名 護）</td></tr><tr><td>上間</td><td>巽（本 部）</td></tr></table>	<審査委員>		松田	盛（北 谷）	仲間	稔（具志川）	金城	光信（コ ザ）	吉元	和男（名 護）	上間	巽（本 部）		
銅 賞：14 名 銀 賞：13 名 金 賞：35 名 会長賞：12 名 選考会： 6 名 胡弓 金 賞： 3 名	<table><tr><td colspan="2"><審査委員></td></tr><tr><td>松田</td><td>盛（北 谷）</td></tr><tr><td>仲間</td><td>稔（具志川）</td></tr><tr><td>金城</td><td>光信（コ ザ）</td></tr><tr><td>吉元</td><td>和男（名 護）</td></tr><tr><td>上間</td><td>巽（本 部）</td></tr></table>	<審査委員>		松田	盛（北 谷）	仲間	稔（具志川）	金城	光信（コ ザ）	吉元	和男（名 護）	上間	巽（本 部）							
<審査委員>																				
松田	盛（北 谷）																			
仲間	稔（具志川）																			
金城	光信（コ ザ）																			
吉元	和男（名 護）																			
上間	巽（本 部）																			
			13：00	◎舞踊地謡研修部月例研修会 場所：沖縄市老人福祉センターかりゆし園 指導者：島袋功 節組：柳節之踊、むんじゅる、芋引之踊、浜千鳥節之踊、あやぐ、黒島口説																

月	日	曜	時間	事 項																				
7			17：00	第 58 回こども舞踊大会 場所：琉球新報ホール <table><tr><td>那覇支部</td><td>1 1 名</td><td>北谷支部</td><td>5 名</td></tr><tr><td>浦添支部</td><td>1 1 名</td><td>読谷支部</td><td>9 名</td></tr><tr><td>宜野湾支部</td><td>4 名</td><td>石川支部</td><td>6 名</td></tr><tr><td>コザ支部</td><td>4 名</td><td>名護支部</td><td>2 名</td></tr><tr><td colspan="2"></td><td>具志川支部</td><td>2 名</td></tr></table> 三線・胡弓・笛	那覇支部	1 1 名	北谷支部	5 名	浦添支部	1 1 名	読谷支部	9 名	宜野湾支部	4 名	石川支部	6 名	コザ支部	4 名	名護支部	2 名			具志川支部	2 名
	那覇支部	1 1 名	北谷支部	5 名																				
浦添支部	1 1 名	読谷支部	9 名																					
宜野湾支部	4 名	石川支部	6 名																					
コザ支部	4 名	名護支部	2 名																					
		具志川支部	2 名																					
	20	木	12：00	◎ブラジル支部との交流会・食事会 與那嶺義勝支部長他 場所：那覇市「首里御殿」																				
8	5	土	10：00	◎第 5 回執行部会 ※台風のため中止																				
	6	土	09：00	◎組踊地謡研修部月例研修 ※台風のため中止																				
	9	水	16：00	◎沖縄芸能連盟 第 57 回定期総会 場所：琉球新報ホール 会順 1) 開会あいさつ . . . 副会長 渡久地 美代子 2) 会長あいさつ . . . 会長 金城 美枝子 3) 来賓祝辞 . . . 琉球新報社代表取締役 普久原 均 4) 議題： ① 2022 年度事業報告並びに終始決算報告 ② 2022 年度会計監査報告 ③ 2023 年度事業計画（案）並びに 2023 年度予算（案） ④ 役員改選について ⑤ その他 5) 閉会のあいさつ 副会長 玉城 利和 「功労賞」 ＊儀保明美 ＊伊計秀子 ＊長嶺ルーシー ＊伊良波ゆかり ＊山内昌也（湛水琉保存会）																				
	11	金	10：00	◎事務局会議 場所：嘉手納マクドナルド 議題 1 組研・舞研合同発表会について 2 協会年会費について 3 創立 100 周年事業について 4 その他 5 報告事項																				

月	日	曜	時間	事 項
8	12	土	10 : 00	◎幹事会 場所：うるま市ゆらてく研修室 議題 1 組研・舞研合同発表会について 2 協会年会費について 3 創立 100 周年事業について 4 その他報告事項 報告事項
	13	日	10 : 00	◎第 17 回琉楽奨励賞入賞者表彰式・激励公演 場所：うるま市ゆらてくホール 表彰式式順 司会 宮城秀基 一、開会のことば 糸数昌治 二、主催者あいさつ 三、表 彰 副会長 会 長 ＜歌三線の部＞ 銅賞 68 名 銀賞 49 名 金賞 40 名 会長賞 14 名 ＜笛 の 部＞ 金賞 1 名＜胡 弓 の 部＞ 金賞 3 名 四、受賞者代表あいさつ 徳田佳音 五、来賓祝辞 琉球新報社 代表取締役社長 普久原均様 六、閉 会 の こ と ば 副会長 銘苅盛隆
	20	日	13 : 30	◎舞踊地謡研修部月例研修会 場所：沖縄市老人福祉センター かりゆし園 指導者：銘苅盛隆 節組：天川節之踊、上り口説、下り口説、しょんだふ節之踊、 取納奉行、本嘉手久節之踊、加那ヨー天川」
	25	金	14 : 00	◎沖縄芸能関連協議会・実行委員会 場所：琉球新報社 議題： 沖芸連の日について
	26	土	14 : 00	◎師範会 場所：沖縄市老人福祉センターかりゆし園 指導者：上間克美・比嘉康夫 節組：かぎやで風節/長伊平屋節、十七八節/本花風節 本調子仲風節/本調子述懐節、揚七尺節、百名節、立雲節
	30	水	10 : 00	野村流合同協議会 会計監査 場所：北谷町ニライセンター
9	2	土	10 : 00	◎第 6 回執行部会 場所：A&W 国体道路店 議題： 1 組研・舞研合同発表会について 2 協会年会費について 3 創立 100 周年事業について 4 その他 報告事項

月	日	曜	時間	事 項
9	3	日	09 : 00	◎組踊地謡研修部月例研修会 場所：読谷村総合福祉センター 指導者：糸数昌治 節組：組研・舞研合同発表会の演目
	9	土	13 : 30	◎沖縄県指定無形文化財 沖縄伝統音楽野村流保存会 勉強会 場所：西原町社会福祉センター
	13	水	10 : 00	◎野村流合同協議会総会 場所：北谷町ニライセンター
	16	土	10 : 00	◎臨時幹事会 場所：うるま市ゆらてく研修室 議題：創立100周年事業について ＊情報収集委員会の設立 ＊委員の推薦 ＊その他
	17	日	13 : 30	◎舞踊地謡研修部月例研修会 場所：沖縄市老人福祉センター かりゆし園 指導者：島袋功 節組：合同発表会演目 湊くり、総掛、天川、諸鈍、ぜい、日傘、取納奉行、 瓦屋、加那ヨー天川
	27	水	14 : 00	◎事務局会議 場所：マクドナルド嘉手納店 議題： 1. 組研・舞研合同発表会について 2. 年会費について 3. その他
10	1	日	09 : 00	◎組踊地謡研修部月例研修会 場所：読谷村総合福祉センター 指導者：島袋英治 節組：組研・舞研合同発表会の演目
	7	土	10 : 00	◎第7回執行部会 場所：A&W 国体道路店 議題： 1 組研・舞研合同発表会について（スケジュールの確認） 2 協会年会費について 3 創立100周年事業について 4 世禮国男シンポジウムについて 5 その他 報告事項

月	日	曜	時間	事 項
10	8	日	13 : 00	◎教師研修会 場所：沖縄市保健相談センター 指導者：佐久田朝雄、宮城勝秀 節組：こにや節、本部長節、石ん根の道節、仲節、 清屋節、ヨシヤイノー節、與儀前ン田節、 木綿花節、本赤田風節
	14	土	10 : 00	◎幹事会 場所：うるま市ゆらてく研修室 議題 1 協会年会費について 2 創立 100 周年事業について 3 その他報告事項 報告事項
	15	日	13 : 30	◎舞踊地謡研修部月例研修会 場所：うるま市健康福祉センターうるみん 指導者：銘苅盛隆、島袋功 節組：合同発表会演目(立ち方との手合わせ) 湊くり、総掛、天川、諸鈍、ぜい、日傘、取納奉行、瓦 屋、加那ヨ一天川
	18	水	14 : 00	事務局会議 場所：マクドナルド嘉手納店 議題：琉球新報芸能祭出演者の確認
	22	日	10 : 00	第 1 回創立 100 周年事業情報収集委員会 場所：うるま市ゆらてく 議題：各委員会の情報確認（協議事項、分担、これからの委員会開催について、等）
	27	土	10 : 00	◎第 38 回組踊地謡研修部 ・舞踊地謡研修部合同発表会リハーサル 場所：名護市民会館大ホール
	28	日	14 : 00	◎第 38 回組踊地謡研修部・舞踊地謡研修部合同発表会 場所：名護市民会館大ホール
	31	火	18 : 00	<協力事業>首里城祭道ジュネーリハーサル 場所：沖縄空手会館 特記：野村流音楽協会より 5 名参加
	11	1	水	<協力事業>第 12 回沖縄連の日公演 場所：国立劇場おきなわ大劇場
	4	土	18 : 00	◎第 8 回執行部会 *都合により中止

月	日	曜	時間	事 項
11	5	日	09 : 00	◎組踊地謡研修部月例研修会 場所：読谷村総合福祉センター 指導者：島袋英治 節組：かぎやで風節 組踊：女物狂、銘苅子、孝行の巻
			10 : 00	<協力事業>首里城祭道ジュネー（国際通り） 演奏曲：安波節、南嶽節
			10 : 00	◎創立 100 周年記念事業情報収集委員会 場所：農民研修センター研修室
	18	金	10 : 00	◎創立 100 周年記念事業情報収集委員会 場所：農民研修センター研修室
	23	木	13 : 30	◎舞踊地謡研修部月例研修会 場所：沖縄市老人福祉センター かりゆし園 指導者：島袋功 節組：作田節之踊、鳴子踊、ゼイ踊、金細工、四季口説、黒島口説
			17 : 30	<協力事業>琉球古典芸能祭 場所：名護市民会館
12	25	土	13 : 00	◎師範会 場所：沖縄市老人福祉センターかりゆし園 指導者：比嘉康夫、上間克美 節組：かぎやで風節、長伊平屋節、長ちゃんな節、伊集早作田節、本伊平屋節、比屋定節、宇地泊節、屋慶名節
	2	土	10 : 00	◎第 9 回執行部会 場所：A&W 北谷国体道路店 議題： 1 創立 100 周年記念事業ついでの中間報告 2 教師・師範免許試験の審査員の推薦について 3 教師・師範免許試験の課題曲について 4 令和 6 年新年の広告（琉球新報・沖縄タイムス）について（挨拶内容、予算等） 5 令和 6 年新春を寿ぐについて 6 その他 報告事項 ◎創立 100 周年記念事業情報収集委員会/報告
	3	日	09 : 00	◎組踊地謡研修部月例研修会 場所：読谷村総合福祉センター 指導者：糸数昌治 節組：かぎやで風節、諸屯節之踊 組踊：女物狂、銘苅子、孝行の巻

月	日	曜	時間	事 項
12	6	木	14 : 00	＜協力事業＞琉球新報古典芸能コンクール運営委員会 場所：琉球新報会議室 議題：コンクール課題曲について
	8	金	10 : 00	◎創立 100 周年記念事業情報収集委員会 場所：農民研修センター
			13 : 00	◎執行部 4 役会議（会長、副会長、事務局長） 場所：A&W 牧港店 議題：創立 1 0 0 周年事業について
	9	土	10 : 00	◎幹事会 場所：うるま市ゆらてく研修室 議題 1 創立 100 周年記念事業ついでの中間報告 2 教師・師範免許試験の審査員の推薦について 3 教師・師範免許試験の課題曲について 4 令和 6 年新年の広告（琉球新報・沖縄タイムス）について （挨拶内容、予算等） 5 令和 6 年新春を寿くについて 6 その他 報告事項
			13 : 30	◎舞踊地謡研修部月例研修会 場所：沖縄市老人福祉センター かりゆし園 指導者：銘苅盛隆 節組：自主公演演目 若衆こてい節、獅子舞、本嘉手久節之踊、固め節、海のちんぼ うら、黒島口説
	24	日	13 : 00	野村流音楽協会・関西支部創立 9 0 周年記念公演 場所：あましんアルカイックホール・オクト
	28	水	14 : 00	◎会長・事務局会議 場所：マクドナルド嘉手納店 議題：100 周年事業、規約改正について、他
1	4	木	10 : 00	◎琉球新報名刺交換会
			14 : 00	◎第 10 回執行部会 場所：A&W 牧港店 議題 1 創立 100 周年記念事業（現在までの状況）について 2 創立 100 周年記念事業（情報委員会への回答）について 3 実行委員会の結成発足について 4 教師・師範免許試験の審査委員の 推薦について 5 その他 報告事項

月	日	曜	時間	事 項
1	7	日	10 : 00	◎組踊地謡研修部月例研修会 場所：読谷村総合福祉センター 指導者：上間克美 斉唱曲：自主公演の演目 組 踊：自主公演の演目
	10	水	18 : 00	<協力事業>歌い初め舞い初め新春を寿ぐ 場所：沖縄県立武道館アリーナ 野村流音楽協会：30名参加
	13	土	10 : 00	◎幹事会 場所：うるま市ゆらてく研修室 議題 1 創立 100 周年記念事業（現在までの状況）について 2 創立 100 周年記念事業（情報委員会への回答）について 3 実行委員会の結成発足について 4 教師・師範免許試験の審査委員の 推薦について 5 その他 報告事項
	14	日	10 : 00	<協力事業>若衆芸術祭向け稽古 場所：うるま市ゆらてくホール
			13 : 00	◎教師研修会 場所：読谷村社会福祉センター 指導者：宮城勝秀 節組：港原節、踊こはでさ節、赤さこはでさ節、仲節、長伊平屋節、古見之浦節、屋慶名節、宮城こはでさ節、屋慶名こはでさ節、木綿花節、本赤田花風節
	21	日	13 : 30	◎舞踊地謡研修部月例研修会 場所：沖縄市農民研修センター 指導者：宮城武碩 節組：自主公演演目 若衆こてい節、獅子舞、本嘉手久節之踊、固め節、海のちんぼうら、黒島口説
	27	日	10 : 00	◎相談役・理事会 場所：うるま市ゆらてく研修室 議題 1 創立 100 周年記念事業（現在までの状況）について 2 創立 100 周年記念事業（情報委員会への回答）について 3 実行委員会の結成発足について 4 教師・師範免許試験の審査委員の 推薦について 5 令和 6 年度執行部三役の選任について 6 その他 報告事項

月	日	曜	時間	事 項
1	28	日	09 : 00	<協力事業>若衆芸術祭向け稽古 場所：沖縄市老人福祉センターかりゆし園ホール
			14 : 00	<協力事業>琉球新報芸能コンクール表彰式 場所：琉球新報ホール
2	3	土	10 : 00	◎第 11 回執行部会 場所：A&W 北谷国体道路店 議題 1 創立 100 周年記念事業（現在までの状況）について 2 創立 100 周年記念事業（情報委員会への回答）について 3 創立 100 周年記念事業実行委員会委員の人選について 4 創立 100 周年記念事業第 1 回実行委員会日程について 5 令和 6 年度監事の推薦について 6 その他 報告事項
	4	日	10 : 00	<協力事業>若衆芸術祭向け稽古・リハーサル 場所：沖縄市老人福祉センターかりゆし園ホール
			14 : 00	◎組踊地謡研修部月例研修会 場所：読谷村総合福祉センター 指導者：糸数昌治 節組：斉唱曲「自主公演の演目」 組踊：「自主公演の演目」
	10	日	10 : 00	◎幹事会 場所：うるま市ゆらてく研修室 議題 1 創立 100 周年記念事業（現在までの状況）について 2 創立 100 周年記念事業（情報委員会への回答）について 3 創立 100 周年記念事業実行委員会委員の人選について 4 創立 100 周年記念事業第 1 回実行委員会日程について 5 令和 6 年度監事の推薦について 6 その他 報告事項
	10	日	13 : 00	◎令和 5 年度教師・師範免許審査委員書類審査 場所：うるま市ゆらてく研修室
	12	火	10 : 00	<協力事業>第 8 回沖縄伝統芸能「若衆芸術祭」本番 場所：琉球新報ホール 県知事賞：知念清太 琉球新報賞：大城昇馬

月	日	曜	時間	事 項
2				若衆大賞：永野鈴維寧 若衆優秀賞：兼謝名百花・山城希織・中島和奏 ＜団体若衆優秀賞＞ 斉唱・秋の踊り・上り口説
	18	日	13：30	◎舞踊地謡研修部月例研修会 場 所：うるま市健康福祉センターうるみん 指導者：島袋功 節組：自主公演演目 舞台稽古 磯千鳥、作田、本嘉手久、若衆こてい節、黒島口説、松竹梅鶴 亀、固み節、海のちんぼうら、鷺の鳥、みやらび、いちゅび 小、獅子舞、稲まづん、汀間当
	24	土	13：00	◎師範会 場 所：沖縄市老人福祉センターかりゆし園 指導者：比嘉康夫、上間克美 節組：かぎやで風節、恩納節、長伊平屋節、仲里節、昔田名 節、與儀前ン田節、ノンフリ節、踊タウガネ節 ＊特別講演：黒朝衣の歴史について 講師：中野夢 氏
	29	木	18：00	◎組踊地謡研修部 第41回自主公演「えにし」リハーサル 場所：うるま市民芸術劇場 響ホール
3	2	土	10：00	◎第12回執行部会 場所：うるま市ゆらてく研修室 議題： 1 創立100周年記念事業情報収集への回答 2 創立100周年記念事業第1回実行委員会開催について 3 会計監査（日程等）について
			13：30	◎創立100周年記念事業第1回実行委員会 場所：うるま市ゆらてく研修室 内容：各委員会毎のテーマで議論、討議を中心に進行
	3	日	14：00	◎組踊地謡研修部自主公演（えにし） 場所：うるま市市民芸術劇場響ホール
	9	日	13：00	◎舞踊地謡研修部 第24回自主公演「となか」リハーサル 場所：うるま市民芸術劇場響ホール
	10	日	14：00	◎舞踊地謡研修部 第24回自主公演「となか」～勇往邁進～ 場所：うるま市民芸術劇場響ホール
	16	土	13：00	◎令和5年度教師実技審査 場所：うるま市ゆらてくホール 「審査委員」 与那嶺直樹、眞榮田徹也、新垣和則、城間盛秋、与那嶺靖、 島袋功、宮平永次郎、儀保明美、仲間稔、山内昌也

月	日	曜	時間	事 項
3				<合格者>三線 27 名 笛 2 名
	17	日	10 : 00	◎令和 5 年度師範実技審査・笛、胡弓実技審査 場所：うるま市ゆらてくホール 「審査委員」 金城光信、玉城巖、前川元、玉城秀木、宇栄原宗真、内間悦子、宮城武碩、内間清彦、知念久光 <合格者>三線 12 名 笛 1 名 胡弓 1 名
	24	日	10 : 00	◎令和 5 年度関東支部教師、師範実技審査 「審査委員」 下地健士、宗岡高、沼崎裕二、新保貴子 <合格者>三線 2 名
			13 : 30	◎舞踊地謡研修部月例研修会 場所：沖縄市老人福祉センター かりゆし園 指導者：島袋功 節組：本花風之踊、伊野波節之踊、高平良萬歳之踊、 若衆揚口説、花笠踊、加那ヨ一天川

令和5年度 一般会計収支決算書

収 入	7,359,717 円
支 出	6,419,536 円
次年度へ繰越金	940,181 円

自: 令和5年 4月 1日
至: 令和6年 3月31日
(単位: 円)

収入の部

番号	勘定科目	予算額	決算額	増減(△)	摘 要
1	繰 越 金	413,329	413,329	0	前年度より繰り越し
2	会 費	2,300,000	2,264,121	△ 35,879	県内828名×¥2000・ 97名×¥500、県外238名×¥2000、 3名×¥500、過年度分¥30500、国外94名 ¥22479(2\$) 海外過年度¥19428次年度¥9714
3	寄 付 金	1,000	0	△ 1,000	
4	免 許 料	1,900,000	2,030,000	130,000	交付料師範30名、教師40名¥1,500,000 受験料51名×¥10000<師範13名、教師38名> 海外R4年度申込料¥20,000
5	事 業 収 入	180,000	128,250	△ 51,750	楽典のてびき、徽章、定
6	雑 収 入	200,000	362,509	162,509	決算利息、こども舞踊大会、施設借用取消戻り金、その他
7	繰 入 金	1,500,000	2,161,508	661,508	調整基金より¥2,000,000円他琉楽奨励賞より¥161508
合 計		6,494,329	7,359,717	865,388	

支出の部

※科目間の流用ができるものとする。

番号	勘定科目	予算額	決算額	増減(△)	摘 要
1	会 議 費	250,000	174,062	△ 75,938	相談役・理事会・幹事会・執行部会
2	事 務 諸 費	250,000	137,102	△ 112,898	文具代・コピー代・消耗品代
3	事 業 費	1,900,000	2,278,569	378,569	総会資料/¥698404/免許状・免許審査関係¥547519、合同公演・琉楽奨励賞へ助成金¥300000、R5年度会場使用料¥257370、次年度施設借用料¥112870、100周年関係¥55000男性徽章¥105000監査、その他¥202406
4	分 担 金	100,000	100,000	0	野村流合同協議会へ
5	助 成 金	800,000	800,000	0	師範会・教師会・組研・舞研
6	通 信 費	400,000	376,294	△ 23,706	切手・ハガキ代・通話料等
7	慶 弔 費	100,000	149,650	49,650	祝儀、寄付、供花、功労賞花束代
8	渉 外 費	280,000	198,300	△ 81,700	若衆芸術祭、子ども舞踊大会、芸能連盟会費、新報新年号掲載
9	手 当	810,000	810,000	0	事務局手当
10	交 通 費	500,000	557,020	57,020	相談役・理事幹事・役員等交通費
11	支部育成費	100,000	118,471	18,471	県外・海外支部への資料送付代
12	祭 祀 費	60,000	60,000	0	(那覇/波の上旭ヶ丘公園・コザ/八重島・名護/伊差川)顕彰清掃費
13	雑 費	50,000	42,568	△ 7,432	振込手数料、消耗品等
14	印 刷 費	1,000	0	△ 1,000	
15	調 整 基 金	1,000	0	△ 1,000	
16	予 備 費	630,329	0	△ 630,329	
17	委 託 料	260,000	251,317	△ 8,683	レンタル倉庫代・HP管理代
18	繰 出 金	1,000	366,183	365,183	合同公演へ¥202493工工四へ¥163690
小 計		6,493,329	6,419,536	△ 73,793	
19	繰 越 金	1,000	940,181	939,181	次年度へ繰越
合 計		6,494,329	7,359,717	865,388	

調整基金

前年度繰越金	本年度繰入金	本年度繰出金	残 高	摘 要
3,035,555	0	2,000,000	1,035,581	利息¥26 <沖縄銀行/赤道支店No.1760591へ預入>

伊差川世瑞・世禮國男顕彰基金

前年度繰越金	本年度繰入金	本年度繰出金	残 高	摘 要
354,815	0	0	354,817	利息¥2 <沖縄銀行/赤道支店No.1751692へ預入>

令和5年度 協力事業関係明細書

第58回記念「こども舞踊大会」

2023.07.16 琉球新報ホール

収入

入場券代

0 今回はなし

琉球新報社より(9/20)

30,000 協力金

合計

¥30,000

那覇支部	0	読谷支部	0
浦添支部	0	具志川支部	0
宜野湾支部	0	石川支部	0
北谷支部	0	名護支部	0
コザ支部	0	本部支部	0
嘉手納支部	0	今帰仁支部	0

¥0

支出

弁当代

27,000 9支部54名 @500(三線名42、胡弓5名、笛7名)

入場券代

0

一般会計へ

3,000

合計

¥30,000

那覇支部	5,500	北谷支部	2,500
浦添支部	5,500	読谷支部	4,500
宜野湾支部	2,000	石川支部	3,000
コザ支部	2,000	名護支部	1,000
		具志川支部	1,000

¥27,000

第12回 沖縄連の日			
2023年11月01日(水)国立劇場おきなわ大劇場			
収入			
出演料	50,000	沖縄芸能関連協議会より	宮城勝秀会長 糸数昌治副会長 銘苅盛隆副会長 玉城巖 長濱勝廣 笛:中野夢 裏方:那覇支部2名
合計	¥50,000		
支出			
入場券・会費代	18,000	沖縄芸能関連協議会へ支払(6*3000)	
謝礼金	18,000	幕開け斉唱出演者6名*3000	
謝礼金	14,000	裏方2名*7000	
合計	¥50,000		

令和5年度 協力事業関係明細書

第24回新春を寿ぐ「歌い始め・舞い始め華舞台」
＜マウイ島被災地支援＞

2024.01月10日(水)武道館アリーナ棟

収入

入場券代 100,000 各支部へ分担(100*¥1000)

合計 ¥100,000

那覇支部	9,000	読谷支部	7,000
浦添支部	7,000	具志川支部	14,000
宜野湾支部	7,000	石川支部	7,000
北谷支部	4,000	名護支部	14,000
コザ支部	26,000	本部支部	2,000
嘉手納支部	1,000	今帰仁支部	2,000

支出

¥100,000

入場券代金 ¥100,000 琉球新報社へ支払

合計 ¥100,000

第8回 おきなわ伝統芸能「若衆芸術祭」

2024年2月12日(月・祝日)琉球新報ホール

収入

参加費 12,500 25名 × ¥500

入場券代 90,000 43名 × 2,000

一般会計より 51,000 補填

合計 ¥153,500

支出

参加費・入場券代 102,500 新報社へ支払

謝礼金 45,000 儀武八重子道場・吉田幸太鼓

駐車場代 6,000 儀武八重子道場・吉田幸太鼓

合計 ¥153,500

令和5年度 第38回 組研・舞研合同発表会決算書

収 入 1,260,493 円

支 出 1,260,493 円

差引残高 0 円

自：令和5年 4月 1日

至：令和6年 3月31日

収入の部

(単位：円)

番号	勘定科目	予算額	決算額	増減(△)	摘 要
1	繰 入 金	200,000	402,493	202,493	一般会計より (事業費200,000円、繰出金202,493円)
2	入 場 券	750,000	843,000	93,000	割当500枚 販売62枚 @1500 円
3	雑 収 入	1,000	15,000	14,000	祝儀
合 計		951,000	1,260,493	309,493	

支出の部

※科目間の流用ができるものとする。

番号	勘定科目	予算額	決算額	増減(△)	摘 要
1	会 場 費	250,000	505,330	255,330	名護市民会館使用料
2	事 務 費	10,000	1,480	△ 8,520	コピー代
3	会 議 費	10,000	10,000	0	打合せ
4	印 刷 費	40,000	55,000	15,000	プログラム、チケット、チラシ
5	音響照明費	50,000	0	△ 50,000	
6	通 信 費	5,000	3,250	△ 1,750	切手代
7	報 償 費	450,000	570,000	120,000	立ち方、裏方等への謝礼
8	交 通 費	9,000	12,000	3,000	指導者4名
9	雑 費	126,000	103,433	△ 22,567	弁当代、水代、お菓子代等
10	繰 出 金	1,000	0	△ 1,000	
合 計		951,000	1,260,493	309,493	

令和5年度 第17回 琉楽奨励賞決算書

収 入	611,000 円
支 出	611,000 円
差引残額	0 円

自: 令和5年4月 1日

至: 令和6年3月31日

収入の部

(単位: 円)

番号	勘定科目	予算額	決算額	増減(△)	摘 要
1	繰 入 金	100,000	100,000	0	一般会計より繰入
2	受 験 料	500,000	511,000	11,000	125名*3000 27名*2000
3	雑 収 入	1,000	0	△ 1,000	
合 計		601,000	611,000	10,000	

支出の部

※科目間の流用ができるものとする。

番号	勘定科目	予算額	決算額	増減(△)	摘 要
1	会 場 費	270,000	193,120	△ 76,880	うるま市民芸術劇場・燈ホール
2	事 務 費	25,000	15,128	△ 9,872	用紙、封筒、コピー代
3	会 議 費	5,000	5,000	0	打合せ飲食費
4	印 刷 費	40,000	37,266	△ 2,734	用紙・インク(パンフレット用)
5	通 信 費	6,000	8,528	2,528	切手代等<通知や賞状送付>
6	報 償 費	120,000	84,000	△ 36,000	裏方等への謝礼
7	表 彰 費	40,000	28,000	△ 12,000	会長賞へ工工四贈呈<上9中5下2舞 I 1>
8	交 通 費	36,000	36,000	0	審査員 11名×3千円
9	雑 費	58,000	42,450	△ 15,550	弁当&お茶、お菓子等
10	繰 出 金	1,000	161,508	160,508	一般会計へ
合 計		601,000	611,000	10,000	

令和5年度 工工四販売事業収支決算書

収 入	2,115,390 円
支 出	2,115,390 円
差引残高	0 円

自: 令和5年4月 1日
至: 令和6年3月 31日

収入の部

(単位: 円)

番号	勘定科目	予算額	決算額	増減(△)	摘 要
1	販売益(上巻)	200冊×2000 400,000	510,400	110,400	23冊×2000円 46,000 258冊×1800円 464,400
2	販売益(中巻)	100冊×2000 200,000	182,400	△ 17,600	21冊×2000円 42,000 78冊×1800円 140,400
3	販売益(下巻)	80冊×2000 160,000	471,800	311,800	19冊×2000円 38,000 241冊×1800円 433,800
4	販売益(続巻)	60冊×1200 72,000	51,600	△ 20,400	18冊×1200円 21,600 30冊×1000円 30,000
5	販売益(初級)	200冊×1500 300,000	259,500	△ 40,500	11冊×1500円 16,500 160冊×1300円 208,000 35冊×1000円 35,000
6	販売益(舞踊Ⅰ)	130冊×2000 260,000	168,000	△ 92,000	21冊×2000円 42,000 70冊×1800円 126,000
7	販売益(舞踊Ⅱ)	150冊×2000 300,000	185,000	△ 115,000	25冊×2000円 50,000 75冊×1800円 135,000
8	販売益(特集)	50冊×2000 100,000	54,000	△ 46,000	9冊×2000円 18,000 20冊×1800円 36,000
9	販売益(組踊・朝薫5番)	50冊×5000 250,000	69,000	△ 181,000	冊×5000円 0 10冊×4500円 45,000 5冊×4800円 24,000
小 計		2,042,000	1,951,700	△ 90,300	
繰 入 金		1,000	163,690	162,690	一般会計より
合 計		2,043,000	2,115,390	72,390	

支出の部

番号	勘定科目	予算額	決算額	増減(△)	摘 要
1	印刷費	1,000,000	2,071,905	1,071,905	工工四上巻90冊、舞踊Ⅰ110冊、舞Ⅱ1000冊、初級500冊
2	交通費	20,000	20,000	0	配達に係る費用
3	保管料	20,000	22,000	2,000	近代美術印刷
4	振込手数料	1,000	1,485	485	
小 計		1,041,000	2,115,390	1074390	
繰 出 金		1,002,000	0	△ 1,002,000	
合 計		2,043,000	2,115,390	72,390	

令和5年度 財産目録

科 目	金 額(円)	摘 要	備 考
普通預金 現金	597,800 342,381	沖銀銀行 赤道支店 No.1677477	一般会計
普通預金	1,035,581	沖繩銀行 赤道支店No.1760591	調整基金
普通預金	354,817	沖繩銀行 赤道支店No.1751692	伊差川世瑞・世禮國男顕彰基金
合 計	2,330,579		

科 目	金 額(円)	摘 要	備 考	3月末現在	
				近美在庫	手持在庫
工工四（上巻）	100,000	50 冊 × 2000円	令和4年度残高 359 冊 令和5年度売上 281 冊 令和2年以降贈与 8 冊 令和2年以前分調整 20 冊	50	
工工四（中巻）	0	0 冊 × 2000円	令和4年度残高 117 冊 令和5年度売上 99 冊 令和2年以降贈与 8 冊 令和2年以前分調整 10 冊	0	
工工四（下巻）	640,000	320 冊 × 2000円	令和4年度残高 645 冊 令和5年度売上 260 冊 令和2年以降贈与 8 冊 令和2年以前分調整 57 冊	320	
工工四（初級）	750,000	500 冊 × 1500円	令和4年度残高 225 冊 500増刷 令和5年度売上 206 冊 令和2年以降贈与 7 冊 令和2年以前分調整 12 冊	500	
工工四（続巻）	840,000	700 冊 × 1200円	令和4年度残高 712 冊 令和5年度売上 48 冊 令和2年以降贈与 6 冊 令和2年以前分調整 -42 冊	700	
工工四（舞Ⅰ）	1,092,000	546 冊 × 2000円	令和4年度残高 687 冊 500増刷 令和5年度売上 91 冊 令和2年以降贈与 11 冊 令和2年以前分調整 38 冊	520	26
工工四（舞Ⅱ）	1,894,000	947 冊 × 2000円	令和4年度残高 1,080 冊 1000増刷 令和5年度売上 100 冊 令和2年以降贈与 11 冊 令和2年以前分調整 22 冊	940	7
工工四（特集）	318,000	159 冊 × 2000円	令和4年度残高 228 冊 令和5年度売上 29 冊 令和2年以降贈与 5 冊 令和2年以前分調整 35 冊	0	159
工工四（組踊・朝薫5番）	2,050,000	410 冊 × 5000円	令和4年度残高 431 冊 令和5年度売上 15 冊 令和2年以降贈与 6 冊	400	10
徽章 （男性用・女性用）	382,000	764 枚 × 500円	令和4年度残高 933 枚 男300増 令和5年度売上 169 枚		
会誌ちゃんな3号	118,000	118 冊 × 1,000円	令和4年度残高 118 冊 令和5年度売上 0 冊		
会誌ちゃんな6号	159,000	106 冊 × 1,500円	令和4年度残高 106 冊 令和5年度売上 0 冊		
楽典のてびき	273,000	182 冊 × 1,500円	令和4年度残高 207 冊 令和5年度売上 25 冊		
「 定 」	119,500	239 枚 × 500円	令和4年度残高 282 枚 令和5年度売上 43 枚		
合 計	8,735,500				

※贈与があった場合は内訳書作成する。

令和2年以降贈与内訳書

	贈与処理	
上巻	校正委員会へ5冊	8冊
	海外3冊	
中巻	校正委員会へ5冊	8冊
	海外3冊	
下巻	校正委員会へ5冊	8冊
	海外3冊	
初級	校正委員会へ5冊	7冊
	海外2冊	
続巻	校正委員会へ5冊	6冊
	海外1冊	
舞踊Ⅰ巻	執行部他8冊	11冊
	海外3冊	
舞踊Ⅱ巻	執行部他8冊	11冊
	海外3冊	
特集	校正委員会へ5冊	5冊
組踊	組踊校正委員会へ6冊	6冊

合計70冊

贈与先詳細(令和2年以降)

ブラジル支部 ブラジル支部＜大城マリコ＞ アルゼンチン支部		上・中・下・続・初・舞踊Ⅰ & 各1冊＜計7冊＞ 上・中・下・初・舞踊Ⅰ & Ⅱ 各1冊＜計6冊＞ 上・中・下・舞踊Ⅰ & Ⅱ 各1冊＜計5冊＞
校正委員5名	銘苅良光 宮城勝秀 松田盛 山田義夫 佐久田朝雄	上・中・下・初・続・特集 各5冊
執行部&他	佐久田朝雄 銘苅良光 宮城勝秀 糸数昌治 銘苅盛隆 宮城秀基 渡口裕 古屋順子	舞踊Ⅰ & 舞踊Ⅱ
組踊校正委員会	諸見川和男・照屋勝義・島袋英治 新地孝一・銘苅盛隆・糸数昌治	

事業並びに会務、会計監査報告書

令和6年4月13日(土)北谷ニライセンターセミナー室に於いて、琉球古典音楽野村流音楽協会 会則第8条第4項に基づき会長はじめ事務局員の説明のもと、令和5年度事業並びに会務、一般会計(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)、第38回組研・舞研合同発表会事業・第17回 琉楽奨励賞事業の収支の会計監査を実施いたしました。

- (1) 令和5年度の事業並びに会務について、適正に執行されていることを確認しました。
- (2) 令和5年度会計について、会計簿の処理及び証憑書類の整理が適正に処理されていることを確認しました。
- (3) 一般会計次年度への繰越金 940,181 円は、現金 342,381 円と普通預金 597,800 円沖縄銀行/赤道支店(No.1677477)へ適正に管理されていることを確認しました。
- (4) 調整基金 1,035,581 円は、沖縄銀行/赤道支店(No.1760591)へ適正に管理されていることを確認しました。伊差川世瑞・世禮國男顕彰基金 354,817 円は、沖縄銀行赤道支店(No.1751692)へ適正に管理されていることを確認しました。

以上、ご報告いたします。

令和6年4月13日(土)

琉球古典音楽野村流音楽協会

監事 久 場 良 昌

監事 兼 島 兼 良

監事 新 垣 和 則

令和 6 年度事業並びに会務計画（案）

自 令和 6 年 4 月 1 日

至 令和 7 年 3 月 31 日

年間を通して、基本的に定例的に開催されるもの。

○執行部会（毎月第 1 土曜日）

○幹事会（偶数月の第 2 土曜日）

○教師研修会（3 ヶ月に 1 回で第 2 日曜日）4 月・7 月・10 月・1 月

○師範会（3 ヶ月に 1 回で第 4 土曜日）5 月・8 月・11 月・2 月

○組踊地謡研修会（毎月第 1 日曜日）

○舞踊地謡研修会（毎月第 3 日曜日）

創立 100 周年記念実行委員会及び各部委員会を随時開催する。

月	日	曜日	時間	事 項
4	6	土	10：00	執行部会 場所：読谷村社会福祉センター
	7	日	09：00	組踊地謡研修会（以下、組研とする）
	13	土	10：00	会計監査 場所：北谷ニライセンター
	13	土	13：00	教師研修会 場所：読谷村社会福祉センター
	20	土	10：00	第 1 回幹事会 場所：うるま市ゆらてく研修室 2
	20	土	14：00	組踊舞踊地謡研修部合同修了式
	27	土	10：00	理事・相談役会 場所：うるま市研修室 1
	28	日	10：00	舞踊地謡研修会（以下、舞研とする）
5	4	土	10：00	執行部会
	5	日	09：00	組研
	10	金	13：00	創立 100 周年「公演委員会」
	11	土	10：00	創立 100 周年「式典委員会」
	18	土	11：00	野村流始祖先師顕彰碑報告 場所：波の上（旭ヶ丘公園内）
	19	日	13：00	第 100 回定期総会
				場所：うるま市ゆらてくホール
	25	土	13：00	師範会
6	26	日	13：30	舞研
	1	土	10：00	執行部会
	2	日	10：00	組研
	15	土	10：00	第 2 回幹事会
	16	日	16：00	浦添支部 50 周年記念公演
	23	日	10：00	舞研
	30	日	14：00	関東支部 75 周年記念公演
7	2	火	10：00	合同協議会 波の上参拝
	6	土	10：00	執行部会
	7	日	09：00	組研
	14	日	13：00	教師研修会
	20	土	10：00	琉楽奨励賞 銅賞・銀賞 場所：沖縄市農民研修センター予定

	21	日	10 : 00	琉楽奨励賞 金賞・会長賞・若衆芸術祭独唱選考会 場所：沖縄市農民研修センター予定
	21	日	13 : 30	舞研
8	3	土	10 : 00	執行部会
	4	日	10 : 00	組研
	10	土	10 : 00	第3回幹事会
	24	土	14 : 00	師範会
	25	日	13 : 30	舞研
9	1	日	10 : 00	組研
	7	土	10 : 00	執行部会
	22	日	10 : 00	舞研
	23	月(祝)	10 : 00	琉楽奨励賞表彰式／創立100周年記念「若衆公演」リハーサル
	28	土	10 : 00	創立100周年記念「若衆公演」本番
10	5	土	10 : 00	執行部会
	6	日	10 : 00	組研
	12	土	10 : 00	第4回幹事会
	13	日	13 : 00	教師研修会
	20	日	13 : 30	舞研
11	2	土	10 : 00	執行部会
	2	土	13 : 00	創立100周年記念公演リハーサル（中部）場所：沖縄市民会館
	3	日	11 : 00	創立100周年記念式典 場所：沖縄市民会館
	3	日	15 : 00	創立100周年記念公演 本番（中部）場所：沖縄市民会館
	3	日	10 : 00	組研
	23	土	13 : 00	師範会
	24	日	10 : 00	舞研
12	1	日	10 : 00	組研
	7	土	10 : 00	執行部会
	14	土	10 : 00	第5回幹事会
	22	日	13 : 30	舞研
1	4	土	10 : 00	執行部会
	5	日	10 : 00	組研
	6	月	10 : 00	年始あいさつ廻り 県教育庁文化財課・県文化観光部文化振興課・マスコミ各社
	11	土	10 : 00	第6回幹事会 ／ 教師・師範免許審査申込み締め切り
	12	日	13 : 00	教師研修会
	19	日	10 : 00	理事・相談役会
		日	13 : 30	舞研
	25	土	13 : 00	創立100周年記念公演リハーサル（北部）場所：名護市民会館
	26	日	15 : 00	創立100周年記念公演 本番（北部）場所：名護市民会館
	26	日	10 : 00	舞研
2	1	土	10 : 00	執行部会

	2	日	10 : 00	組研
	8	土	10 : 00	令和 6 年度 教師・師範免許審査委員委嘱状交付式及び書類審査
	9	日	14 : 00	「協力事業」若衆芸術祭 場所：琉球新報ホール
	22	土	13 : 00	師範会
	23	日	10 : 00	舞研
3	1	土	10 : 00	執行部会
	2	日	10 : 00	第 42 回組踊地謡研修部自主公演「えにし」リハーサル
			14 : 00	第 42 回組踊地謡研修部自主公演「えにし」本番 場 所：国立劇場おきなわ 小劇場
	22	土	13 : 00	創立 100 周年記念公演リハーサル（南部）場所：調整中
	23	日	15 : 00	創立 100 周年記念公演 本番 （南部） 場所：調整中
	29	土	10 : 00	令和 6 年度 教師・師範免許実技審査 場所：うるま市ゆらてくホール
	30	日	10 : 00	令和 6 年度 教師・師範免許実技審査 場所：うるま市ゆらてくホール
	30	日		関東会場・関西会場 令和 6 年度 教師・師範免許実技審査／海外音源審査
	未定			第 25 回舞踊地謡研修部自主公演「となか」リハーサル
	未定			第 25 回舞踊地謡研修部自主公演「となか」本番

令和6年度 一般会計予算(案)

収 入	5,721,181 円
支 出	5,721,181 円
差引残高	0 円

自:令和 6年 4月 1日
至:令和 7年 3月31日
(単位:円)

収入の部

番号	勘定科目	前年度予算額	本年度予算額	増減(△)	摘 要
1	繰 越 金	413,329	940,181	526,852	前年度より繰り越し
2	会 費	2,300,000	2,300,000	0	県内830名×2000円・県外240×2000円、100×1000円、100名×500円、国外等
3	寄 付 金	1,000	1,000	0	
4	免 許 料	1,900,000	1,800,000	△ 100,000	交付料師範14名×30000円、教師38名×20000円、受験料60名×10000円、国外5000円
5	事 業 収 入	180,000	130,000	△ 50,000	楽典のてびき、徽章、定等
6	雑 収 入	200,000	50,000	△ 150,000	決算利息、予算外事業等
7	繰 入 金	1,500,000	500,000	△ 1,000,000	工工四事業、琉楽等
合 計		6,494,329	5,721,181	△ 773,148	

支出の部

※科目間の流用ができるものとする。

番号	勘定科目	前年度予算額	本年度予算額	増減(△)	摘 要
1	会 議 費	250,000	190,000	△ 60,000	相談役・理事会・幹事会・執行部会
2	事 務 諸 費	250,000	150,000	△ 100,000	文具代・コピー代・消耗品代等
3	事 業 費	1,900,000	2,000,000	100,000	会計監査・総会費・工工四各種委員会・免許審査諸費・琉楽奨励・100周年事業準備
4	分 担 金	100,000	100,000	0	野村流合同協議会へ
5	助 成 金	800,000	800,000	0	師範会10万・教師会10万・組研30万・舞研30万
6	通 信 費	400,000	350,000	△ 50,000	切手ハガキ代・FAX電話代
7	慶 弔 費	100,000	100,000	0	支部総会・発表会・公演会祝儀・香典
8	渉 外 費	280,000	200,000	△ 80,000	子ども舞踊地謡弁当代・広告料等
9	手 当	810,000	810,000	0	事務局長・書記・会計
10	交 通 費	500,000	500,000	0	相談役・理事幹事・役員等交通費
11	支 部 育 成 費	100,000	100,000	0	県外・海外支部への資料提供・交通費等
12	祭 祀 費	60,000	60,000	0	(那覇波之上、コザ八重島、名護伊差川)碑清掃費
13	雑 費	50,000	50,000	0	振込手数料、消耗品等
14	印 刷 費	1,000	1,000	0	
15	調 整 基 金	1,000	1,000	0	
16	予 備 費	630,329	47,181	△ 583,148	
17	委 託 料	260,000	260,000	0	ホームページ管理、レンタル倉庫¥180,000
18	繰 出 金	1,000	1,000	0	工工四事業等へ
小 計		6,493,329	5,720,181		
19	繰 越 金	1,000	1,000	0	次年度一般会計へ
合 計		6,494,329	5,721,181	△ 773,148	

調整基金

前年度繰越金	本年度繰入金	本年度繰出金	残 高	摘 要
1,035,581	1,000	700,000	335,581	沖縄銀行/赤道支店 100周年事業へ繰出

伊差川世瑞・世禮國男顕彰基金

前年度繰越金	本年度繰入金	本年度繰出金	残 高	摘 要
354,817	0	0	354,817	沖縄銀行/赤道支店

令和6年度 工工四販売事業予算書(案)

収 入	1,598,000 円
支 出	1,598,000 円
差引残高	0 円

自: 令和6年4月 1日

至: 令和7年3月 31日

収入の部

(単位: 円)

番号	勘定科目	前年度予算額	本年度予算額	増減(△)	摘 要
1	販売益(上巻)	200冊×2000 400,000	300,000	△ 100,000	150冊×2000円 300,000
2	販売益(中巻)	100冊×2000 200,000	300,000	100,000	150冊×2000円 300,000
3	販売益(下巻)	80冊×2000 160,000	160,000	0	80冊×2000円 160,000
4	販売益(続巻)	60冊×1200 72,000	72,000	0	60冊×1200円 72,000
5	販売益(初級)	200冊×1500 300,000	225,000	△ 75,000	150冊×1500円 225,000
6	販売益(舞踊Ⅰ)	130冊×2000 260,000	200,000	△ 60,000	100冊×2000円 200,000
7	販売益(舞踊Ⅱ)	150冊×2000 300,000	200,000	△ 100,000	100冊×2000円 200,000
8	販売益(特集)	50冊×2000 100,000	100,000	0	50冊×2000円 100,000
9	販売益(組踊・朝薫5番)	50冊×5000 250,000	40,000	△ 210,000	20冊×5000円 40,000
小 計		2,042,000	1,597,000	△ 445,000	
繰 入 金		1,000	1,000	0	一般会計より
合 計		2,043,000	1,598,000	△ 445,000	

支出の部

番号	勘定科目	予算額	決算額	増減(△)	摘 要
1	印刷費	1,000,000	1,300,000	300,000	工工四中巻1000冊 ¥1,155,000、他 ¥145,000
2	交通費	20,000	20,000	0	配達に係る費用
3	保管料	20,000	22,000	2,000	近代美術印刷
4	振込手数料	1,000	1,500	500	
小 計		1,041,000	1,343,500	302500	
繰 出 金		1,002,000	254,500	△ 747,500	
合 計		2,043,000	1,598,000	△ 445,000	

令和6年度 第18回 琉楽奨励賞予算(案)

収 入	601,000 円
支 出	601,000 円
差引残額	0 円

自: 令和6年4月 1日

至: 令和7年3月31日

収入の部

(単位: 円)

番号	勘定科目	前年度予算額	本年度予算額	増減(△)	摘 要
1	繰 入 金	100,000	100,000	0	一般会計より繰入
2	受 験 料	500,000	500,000	0	150*3000 25*2000
3	雑 収 入	1,000	1,000	0	
合 計		601,000	601,000	0	

支出の部

※科目間の流用ができるものとする。

番号	勘定科目	前年度予算額	本年度予算額	増減(△)	摘 要
1	会 場 費	260,000	260,000	0	ホール使用料
2	事 務 費	25,000	25,000	0	用紙、封筒、コピー代
3	会 議 費	5,000	5,000	0	打合せ飲食費
4	印 刷 費	40,000	40,000	0	用紙・インク(パンフレット用)
5	通 信 費	6,000	6,000	0	切手代等<通知や賞状送付>
6	報 償 費	120,000	120,000	0	裏方等への謝礼
7	表 彰 費	50,000	50,000	0	会長賞へ工工四贈呈
8	交 通 費	36,000	36,000	0	審査員 12名×3千円
9	雑 費	58,000	58,000	0	弁当&お茶、お菓子等
10	繰 出 金	1,000	1,000	0	一般会計へ
合 計		601,000	601,000	0	

琉球古典音楽野村流音楽協会100周年記念事業予算(案)

自:令和6年4月 1日

至:令和7年3月31日

収入の部

勘定科目	予算額	摘 要
繰 入 金	700,000	調整基金より
入 場 券	5,324,400	$会員270 \times 0.9 \times 2枚 \times 2,000円 = 972,000円$ $教師340 \times 0.9 \times 3枚 \times 2,000円 = 1,836,000円$ $師範466 \times 0.9 \times 3枚 \times 2,000円 = 2,516,400円$ 令和5年度会員名簿より (18歳未満、80歳以上除く) 県内支部(離島含む) 838
広 告 料	2,000,000	$240(研究所) \times 0.9 \times 5,000円 = 1,200,000円(研究所広告)$ (一般・企業広告)800,000円
記 念 誌 販 売	4,000,000	記念誌等販売 1,000冊 $\times$ 4,000円
寄 付 金	1,000	
雑 収 入	1,000	
合 計	12,026,400	

支出の部

※科目間の流用ができるものとする。

勘定科目	予算額	摘 要
会 議 費	250,000	交通費200,000円(200 $\times$ 1,000円) 会場借用50,000円
事 業 費	640,000	賞状印刷 筆耕 額縁 顕彰費200,000
会 場 費	1,800,000	3ヶ所(沖縄市・具志川市・名護市)
音 響・照 明 費	270,000	3 $\times$ 2日 $\times$ 15,000円 $\times$ 3ヶ所
通 信 費	45,000	3委員会15,000円 $=$ 45,000円
印 刷 費	5,560,000	プログラム2500部 $\times$ 600円 $=$ 1,500,000円 入場券60,000円 記念誌等4,000,000円
謝 礼	1,200,000	舞踊・アナウンス・受付・裏方・湯茶・舞監等
記 念 品 代	75,000	寄付者150名 $\times$ 500円
事 務 諸 費	30,000	3委員会 $\times$ 1万円
食 糧 費	800,000	弁当
繰 出 金	100,000	「若衆公演」へ
雑 費	150,000	3委員会 $\times$ 5万円
小 計	10,920,000	
予 備 費	1,106,400	
合 計	12,026,400	

令和6年度 創立100周年記念「若衆公演」予算(案)

収 入	1,001,000 円
支 出	1,001,000 円
差引残額	0 円

自: 令和6年4月 1日

至: 令和7年3月31日

収入の部

(単位: 円)

番号	勘定科目	前年度予算額	本年度予算額	増減(△)	摘 要
1	繰 入 金	0	100,000	100,000	100周年会計より繰入
2	入 場 料	0	900,000	900,000	チケット@1500
3	雑 収 入	0	1,000	1,000	
合 計		0	1,001,000	1,001,000	

支出の部

※科目間の流用ができるものとする。

番号	勘定科目	前年度予算額	本年度予算額	増減(△)	摘 要
1	会 場 費	0	250,000	250,000	ホール使用料
2	事 務 費	0	30,000	30,000	用紙、封筒、コピー代
3	会 議 費	0	10,000	10,000	打合せ飲食費
4	印 刷 費	0	80,000	80,000	用紙・インク(パンフレット用)
5	音響照明費	0	150,000	150,000	音響照明スタッフ人件費
6	通 信 費	0	10,000	10,000	切手代等
7	報 償 費	0	300,000	300,000	舞踊研究所、裏方等への謝礼
8	交 通 費	0	20,000	20,000	指導者等への交通費
9	雑 費	0	150,000	150,000	弁当&お茶、お菓子等
10	繰 出 金	0	1,000	1,000	一般会計へ
合 計		0	1,001,000	1,001,000	

琉球古典音楽野村流音楽協会々則第7章第20条

一部改正について（案）

〈現行〉

第20条 本会の会費は年2,000円とする。

ただし、18歳未満は500円、国外支部は2ドルとする。

2 本会に所属する満80歳以上の会員は、会費以外の負担義務を免除する。

なお、本人の申し出があれば会費も免除することができる。

〈改正案〉

第20条 本会の会費は年2,000円、国外支部は2ドルとする。

ただし、14歳以上20歳未満は500円とする。

2 本会に所属する満80歳以上の会員は、1,000円とし、研究所長は2,000円とする。

ただし、会費以外の負担義務を免除する。

※この会則は、令和6年5月19日に一部改正し、令和6年4月1日より適用する。

支 部 別 会 員 数

令和6年4月1日 現在

支部名		会員数合計	会員数内訳				
			一般	80歳以上		14歳～20歳未満	14歳未満
			会費2000円	会費2000円	会費1000円	会費500円	会費免除
1	那 覇	93	71	7	0	0	15
2	浦 添	67	58	1	3	3	2
3	宜 野 湾	59	27	15	12	5	0
4	北 谷	43	24	9	7	3	0
5	コ ザ	263	196	26	15	21	5
6	嘉 手 納	10	8	2	0	0	0
7	読 谷	63	50	2	2	9	0
8	具 志 川	115	94	7	4	10	0
9	石 川	58	49	0	0	6	3
10	名 護	134	77	24	21	12	0
11	本 部	13	11	1	1	0	0
12	今 帰 仁	47	19	0	0	12	16
13	伊 是 名	9	7	0	2	0	0
14	伊 平 屋	8	8	0	0	0	0
県内 計		982	699	94	67	81	41
15	関 東	142	128	9	4	1	0
16	関 西	65	52	8	5	0	0
17	九 州	14	12	1	1	0	0
県外 計		221	192	18	10	1	0
1	ハ ワ イ	65	65	－	－	－	－
2	北 米	6	6	－	－	－	－
3	ペ ル ー	31	31	－	－	－	－
4	ブ ラ ジ ル	38	38	－	－	－	－
5	アルゼンチン	32	32	－	－	－	－
国外 計		172	172	0	0	0	0
合 計		1,375	1,063	112	77	82	41

※ 国外については、一分過年度のデータを掲載しています。会費/2米ドル。

本部役員及び事務局員

役 職	氏 名	支部名
顧 問	普 久 原 均	—
相 談 役	大 城 朝 徳	具志川
〃	座 安 盛 善	那 覇
〃	比 嘉 謙 次	石 川
〃	照 屋 勝 義	那 覇
〃	石 川 親 助	宜野湾
〃	澤 岷 安 松	コ ザ
〃	仲 嶺 朝 信	具志川
〃	上 運 天 秀 雄	具志川
〃	新 里 光 雄	具志川
〃	神 田 米 三	具志川
〃	平 良 薫	コ ザ
〃	島 袋 英 治	コ ザ
〃	山 田 義 夫	北 谷
〃	長 浜 眞 勇	読 谷
〃	銘 莉 良 光	浦 添
〃	比 嘉 康 夫	名 護
〃	上 間 克 美	浦 添
〃	宮 城 勝 秀	宜野湾
〃	山 城 正 俊	具志川
会 長	糸 数 昌 治	コ ザ
副 会 長	銘 莉 盛 隆	浦 添
副 会 長	島 袋 功	名 護
事務局長	古 屋 順 子	石 川
書 記	仲 田 知 広	コ ザ
会 計	比 嘉 いつみ	コ ザ

理 事

支 部 名	氏 名	郵便番号	住 所	電話番号
那 覇	浜 川 智 昭			
浦 添	比 嘉 シ ゲ 子			
宜 野 湾	玉 城 巖			
コ ザ	金 城 光 信			
〃	調 整 中			
〃	宇 栄 原 宗 真			
〃	島 袋 勝 英			
〃	前 川 元			
北 谷	松 田 盛			
嘉 手 納	比 嘉 秀 季			
読 谷	漢 那 恵 秀			
具 志 川	仲 間 稔			
〃	又 吉 章 盛			
石 川	比 嘉 紀 子			
名 護	吉 元 和 男			
〃	仲 宗 根 朝 儀			
本 部	上 間 巽			
今 帰 仁	与 那 嶺 直 樹			
伊 是 名	東 江 清 和			
伊 平 屋	仲 田 文 治			
関 東	宗 岡 高			
〃	沼 崎 裕 二			
関 西	金 城 茂			
九 州	原 口 忠			

理 事

支 部 名	氏 名	住 所	電話番号
ハ ワ イ	金城ノーマン		
北 米			
ペ ル ー	伊芸エクトル		
ブラジル	大城マリコ・ブルーナ		
アルゼンチン	與那嶺義勝		

監 事

支部名	氏 名	郵便番号	住 所	電話番号
コ ザ	久 場 良 昌			
具 志 川	兼 島 兼 良			
浦 添	新 垣 和 則			

支 部 役 員

那覇支部

支 部 長	浜 川 智 昭	
副 支 部 長	大 城 守 政	
事 務 局 長	渡 慶 次 亨	
書 記	長 堂 エ リ サ	
会 計	喜 納 や よ い	

浦添支部

支 部 長	比 嘉 シ ゲ 子	
副 支 部 長	伊 良 波 ゆ か り	
書 記	呉 屋 則 行	
会 計	藤 岡 宏 美	

宜野湾支部

支 部 長	玉 城 巖	
副 支 部 長	仲 村 智	
副 支 部 長	長 浜 勝 廣	
書 記	比 嘉 剛	
会 計	盛 吉 美 代 子	

北谷支部

支 部 長	松 田 盛	
副 支 部 長	宮 里 賢 三	
書記・会計	辻 村 智 美	

コザ支部

支 部 長	金 城 光 信	
副 支 部 長	與 那 覇 徹	
副 支 部 長	仲 尾 勝 成	
事 務 局 長	比 嘉 俊 一	
書 記	喜 友 名 昭 子	
会 計	米 須 智 子	

具志川支部

支 部 長	仲 間 稔	
副 支 部 長	諸 見 里 朝 弘	
事 務 局 長	上 江 洲 治	
書記・会計	浜 川 拓 也	

嘉手納支部

支 部 長	比 嘉 秀 季	
副 支 部 長	崎 濱 秀 光	
書記・会計	松 田 悟	

読谷支部

支 部 長	漢 那 惠 秀	
副 支 部 長	比 嘉 寛	
書 記	照 屋 早 月	
会 計	上 田 徹 也	

石川支部

支 部 長	比 嘉 紀 子	
副 支 部 長	知 念 政 智	
書記・会計	比 屋 根 良 直	

名護支部

支 部 長	仲 宗 根 朝 儀	
副 支 部 長	東 江 司	
事 務 局 長	長 山 儀 和	
会 計	儀 部 恵 子	

本部支部

支 部 長	上 間 巽	
副 支 部 長	与 那 嶺 吉 男	
書 記	大 城 拓 也	
会 計	大 城 謙	

今帰仁支部

支 部 長	與 那 嶺 直 樹	
副 支 部 長	大 城 純 子	
書記・会計	伊 佐 聡 子	

伊是名支部

支 部 長	東 江 清 和	
書記・会計	佐 久 川 兼 友	

伊平屋支部

支 部 長	仲 田 文 治	
副 支 部 長	西 江 正 清	
書記・会計	諸 見 康 弘	

関東支部

支 部 長	宗 岡 高	
副 支 部 長	沼 崎 裕 二	
副 支 部 長	下 地 健 士	
副 支 部 長	久 保 田 清 美	
事務局 長	篠 田 里 美	
会 計	長谷川みさと	

関西支部

支 部 長	金 城 茂	
副 支 部 長	新 城 浩 文	
副 支 部 長	糸 数 美 華	
事務局 長	藤 島 稔	
会 計	上 原 和 華 子	
会計補佐	和 田 悦 雄	
書 記	木 下 裕 之	

九州支部

支 部 長	原 口 忠	
副 支 部 長	田 中 悟	
書記・会計	山 口 紗 輝	

ハワイ支部

支 部 長	金城 ノーマン		
副 支 部 長	仲 兼 久 キース		
書 記	ドンナンミュリエル		
副 会 計	カーマイケルグレース		

北米支部

支 部 長			
書 記	タ ン ゴ・トニー		
会 計	呉屋ジェーン		

ペルー支部

支 部 長	伊 芸 エクトル		
副 支 部 長	安富祖アレハンドロ		
事務局 長	照 屋 ヘラルド		
書 記	知 念 デ ウ ィ		
会 計	仲 田 ル イ ス		

ブラジル支部

支 部 長	大城マリコ・ブルーナ		
副 支 部 長	知 念 宏 吉		
書 記	喜 友 里 智 辰		
会 計	米 須 正		

アルゼンチン支部

支 部 長	與 那 嶺 義 勝	
第 一 副 支 部 長	新 垣 正 吉 (ARAKAKI SEIKICHI)	
第 二 副 支 部 長	稲嶺フェルナンド	
幹 事	宮 城 ダ ニ エ ル	
第一副幹事	名 護 デ ィ エ ゴ	
第二副幹事	栄口アレハンドロ	
会 計	前外間レイナルド	
第一副会計	奥 間 オ マ ー ル	
第二副会計	佐久田アンドレス	

各 種 委 員 会

◎工工四監修委員会

	氏 名	郵便番号	住 所	電話番号
委 員	澤 岷 安 松			
〃	島 袋 英 治			
〃	長 浜 眞 勇			
幹 事	糸 数 昌 治			
〃	比 嘉 い つ み			

◎工工四編集校正委員会（上巻・中巻・下巻・続巻・特集）

	氏 名	郵便番号	住 所	電話番号
委 員	山 田 義 夫			
〃	銘 苅 良 光			
〃	松 田 盛			
〃	宮 城 勝 秀			
幹 事	古 屋 順 子			

◎工工四編集校正委員会（舞踊）

	氏 名	郵便番号	住 所	電話番号
委 員	銘 苅 良 光			
〃	山 田 義 夫			
〃	松 田 盛			
〃	宮 城 武 碩			
〃	島 袋 功			
〃	宮 城 勝 秀			
幹 事	銘 苅 盛 隆			

◎工工四編集校正委員会（組踊）

	氏 名	郵便番号	住 所	電話番号
委 員	照 屋 勝 義			
〃	島 袋 英 治			
〃	銘 苅 盛 隆			
〃	銘 苅 良 光			
〃	松 田 盛			
〃	上 間 克 美			
幹 事	島 袋 功			

◎工工四編集校正委員会（初級）

	氏 名	郵便番号	住 所	電話番号
委 員	宮 城 勝 秀			
〃	銘 苅 盛 隆			
〃	島 袋 功			
〃	宮 城 武 碩			
〃	比 嘉 康 夫			
〃	内 間 悦 子			
幹 事	仲 田 知 広			

◎資料収集編集委員会

	氏 名	郵便番号	住 所	電話番号
委 員	糸 数 昌 治			
〃	銘 苅 盛 隆			
〃	島 袋 功			
〃	古 屋 順 子			
〃	仲 田 知 広			
〃	比 嘉 い つ み			

◎師範会指導者及び幹事

	氏 名	郵便番号	住 所	電話番号
指 導 者	座 安 盛 善			
〃	山 田 義 夫			
〃	上 間 克 美			
〃	銘 苅 盛 隆			
幹 事	眞 榮 田 徹 也			
〃	渡 慶 次 亨			

◎教師研修会指導者及び幹事

	氏 名	郵便番号	住 所	電話番号
指 導 者	宮 城 勝 秀			
幹 事	宮 城 秀 基			
〃	宮 里 恵 子			

◎組踊地謡研修部指導者及び役員

	氏 名	郵便番号	住 所	電話番号
指 導 者	島 袋 英 治			
〃	上 間 克 美			
〃	島 袋 功			
部 長	岸 本 永 馬			
副 部 長	花 城 和 美			
書 記	中 野 夢			
会 計	福 原 武			
書記補佐	林 杏 香			
会計補佐	金 城 洋 子			

◎舞踊地謡研修部指導者及び役員

	氏 名	郵便番号	住 所	電話番号
指 導 者	銘 苅 盛 隆			
〃	宮 城 武 碩			
〃	崎 濱 秀 光			
部 長	小 嶺 克 仁			
副 部 長	七 里 元 晴			
書 記	金 子 絵 美			
会 計	久 保 田 諒			
会 計 補	西 山 優 子			

◎野村流合同協議会役員

役 職	氏 名	郵便番号	住 所	電話番号
委 員	糸 数 昌 治			
〃	銘 苅 盛 隆			
〃	島 袋 功			
〃	古 屋 順 子			
〃	仲 田 知 広			
〃	比 嘉 いつみ			

琉球古典音楽野村流音楽協会々則

第 1 章 総 則

(名 称)

第 1 条 本会は琉球古典音楽野村流音楽協会と称する。

(事務所)

第 2 条 本会の事務所は会長所在地に置く。

(目 的)

第 3 条 本会は会員相互の親睦を図り、琉球古典音楽野村流音楽の普及高揚に努め、もって本会の発展に期することを目的とする。

(組 織)

第 4 条 本会は前条の趣旨に賛同する者で組織する。

2 本会は各地域及び海外に支部を置くことができる。

3 本会に入会しようとする者は本会の支部に入会し、支部長を経て会費を納入しなければならない。

第 2 章 事 業

(事 業)

第 5 条 本会は第 3 条の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) 琉球古典音楽野村流音楽の研究
- (2) 師範会及び教師研修会の実施
- (3) 舞踊及び組踊の地謡並びに伴奏者の養成
- (4) 工工四の印刷及び発刊
- (5) 研究発表並びに合同演奏会の開催
- (6) 師範・教師の免許審査及び免許状の交付
- (7) 琉球古典音楽の文献の収集及び保存
- (8) その他必要な事業

第 3 章 役員及び事務局員

(役 員)

第 6 条 本会に次の役員を置く。

- (1) 会長 1 名、副会長 2 名、理事若干名、監事 3 名、幹事、相談役若干名、顧問若干名
- (2) 本会の役員は名誉職とする。

(役員選出)

- 第7条** 会長、副会長、監事は、理事会において選出し、総会の承認を得るものとする。
- 2 理事は各支部より、会員 50 名に付き 1 名の割で選出し、総会の承認を得るものとする。ただし、会員 50 名に満たない支部は支部長が理事となる。
 - 3 幹事は支部長をもって充てる。
 - 4 相談役は、会員で功労のあった者の中から理事会で選出し、総会の承認を得るものとする。
 - 5 顧問は、学識経験者から会長が理事会にはかつて推戴する。

(役員の任務)

- 第8条** 会長は、本会を代表し、会務を統括する。
- 2 副会長は、会長を補佐し、会長事故あるときは、これを代理する。
 - 3 理事は、理事会を構成し、第 14 条の運営事項を審議する。
 - 4 監事は、会務並びに会計を監査し、理事会並びに総会に報告する。
 - 5 相談役は理事会に出席してその諮問に応じ、又は意見を述べることができる。

(事務局員)

- 第9条** 本会に事務局長を 1 名、書記若干名、会計 1 名を置き、各々会長が推薦して理事会の承認を得るものとする。
- 2 事務局長は会長の指示を受け会務を処理し、議事録・会計簿・会員名簿・備品台帳・その他の簿冊を保管する。
 - 3 書記・会計は事務局長の指示を受け、各々の会務を処理する。

(役員の任期)

- 第10条** 役員の任期は、2 年とし、再選を妨げない。ただし、補欠の任期は、前任者の残任期間とする。

第4章 会 議

(会 議)

- 第11条** 本会の会議は総会と理事会及び幹事会とする。

(総 会)

- 第12条** 定期総会は年 1 回春に行う。ただし、会長又は理事会において必要であると認めるときは臨時総会を開催することができる。
- 2 総会は会長が招集し、議長となる。

(総会の承認事項)

第 13 条 事業及び予算に関する事項

- 2 会則及び規定の改廃
- 3 役員の選任
- 4 その他の事項

(理事会の決議事項)

第 14 条 理事会は会長が招集し、次の事項を審議する。議長は理事の中からそのつと選出する。

- (1) 各役員の選出
- (2) 事業並びに会務報告、決算の承認
- (3) 事業計画並びに会務、予算の審議決定
- (4) 会則及び規定の改廃の審議決定
- (5) 免許審査委員の選定
- (6) 支部の認定
- (7) 会運営のための費用弁償の審議決定
- (8) その他本会運営に必要な事項

(幹事会)

第 15 条 幹事会は会長が招集し、次の事項を審議する。

- (1) 理事会に付すべき事項
- (2) その他本会運営に必要な事項

(議 事)

第 16 条 議事は出席者の過半数以上で決議する。

第 5 章 免 許

(免 許)

第 17 条 本会の師範・教師の免許審査については別に定める免許審査規程による。

第 6 章 会員の権利義務

(権利義務)

第 18 条 本会の会員は第 3 条の目的に添って努力しなければならない。

- 2 第 20 条第 2 項により会員としての権利は一切制限されない。
- 3 本会の会則に違反し、本会の名誉を毀損した者は理事会の決議により除名することができる。
- 4 本会を脱退し又は除名された者は、本会に係わるすべての権利を失う。

第 7 章 会 計

(経 費)

第 19 条 本会の経費は会員の会費・寄付金・その他の収入による。

(会 費)

第 20 条 本会の会費は年 2,000 円、国外支部は 2 ドルとする。

ただし、14 歳以上 20 歳未満は 500 円とする。

- 2 本会に所属する満 80 歳以上の会員は 1,000 円とし、研究所長は 2,000 円とする。ただし、会費以外の負担義務を免除する。

(会計年度)

第 21 条 本会の会計年度は毎年 4 月 1 日から翌年 3 月 31 日までとする。

第 8 章 慶 弔

(慶 弔)

第 22 条 慶弔については別に定める。

第 9 章 委 任

(委 任)

第 23 条 本会運営上必要な規程、要綱等は別に定める。

附 則

- (1) 本会則は昭和 51 年 4 月 1 日施行する。
- (2) 本会則は昭和 58 年 5 月 15 日に一部改正し、当日施行する。
- (3) 本会則は昭和 59 年 5 月 20 日に一部改正し、当日施行する。
- (4) 本会則は昭和 62 年 3 月 1 日に一部改正し、当日施行する。
- (5) 本会則は平成 8 年 4 月 1 日に一部改正し、当日施行する。
- (6) 本会則は平成 13 年 5 月 20 日に一部改正し、当日施行する。
- (7) 本会則は平成 14 年 5 月 19 日に一部改正し、当日施行する。
- (8) 本会則は平成 15 年 5 月 18 日に一部改正し、当日施行する。
- (9) 本会則は平成 21 年 5 月 17 日に一部改正し、当日施行する。

(注・本会則は縦書きであるが資料の体裁上横書きにした。)

- (10) 本会則は平成 22 年 5 月 16 日に一部改正し、当日施行する。
- (11) 本会則は平成 27 年 5 月 17 日に一部改正し、当日施行する。
- (12) 本会則は令和 2 年 5 月 17 日に一部改正し、当日施行する。

- (13) 本会則は令和 6 年 5 月 19 日に一部改正し、令和 6 年 4 月 1 日より適用する。

慶 弔 規 程

第 1 条 会則第 2 2 条については本規程に定める。

(慶 事)

第 2 条 本会各支部又は、他団体の総会、発表会等へ祝儀を贈る事ができる。

(弔 事)

第 3 条 会長、副会長及び同経験者については、会として新聞広告・供花をすることができる。

- 2 顧問、相談役、監事、理事、事務局員については、供花または香典をすることができる。また、その遺族の負担により会長名で新聞広告することができる。

附 則

- (1) この規程は、平成 15 年 5 月 18 日より施行する。
- (2) この規程は、平成 22 年 5 月 16 日に一部改正し、当日より施行する。
- (3) この規程は、令和元年 5 月 19 日に一部改正し、当日より施行する。

「琉球古典音楽 野村流音楽協会・師範会」並びに 「琉球古典音楽 野村流音楽協会・教師研修会」規程

(名称)

第1条 「琉球古典音楽 野村流音楽協会・師範会」並びに「琉球古典音楽 野村流音楽協会・教師研修会」と称する。

(目的)

第2条 会則第5条に基づき師範、教師の資質の向上を目的とする。

(組織及び運営)

第3条 師範会、教師研修会の組織及び運営について次のとおりとする。

1 師範会に次の役員をおく。

(1) 幹事、若干名

2 教師研修会に次の役員をおく。

(1) 部長 1名

(2) 副部長 1名

(3) 書記 1名

(4) 会計 1名

(5) 幹事 若干名

3 役員は、会員のなかから互選し、任期は2年とする。ただし、再任は妨げない。

4 第1項及び第2項の役員は、幹事会を構成し研修会の運営に当たる。

5 研修に必要な指導助言者若干名を委嘱する。

(事業)

第4条 第2項の目的を達成するために次の事業を行う。

(1) 師範会は、5月、8月、11月、2月に教師研修会は、4月、7月、10月、1月、に定例研修会を行う。

(2) その他必要な事業。

(師範、教師の義務)

第5条 師範、教師は積極的に師範会、教師研修会に参加しなければならない。

(協議)

第6条 その他研修活動に必要な事項については、その都度会長と協議する。

附則

(1) この規程は、平成22年5月16日より施行する

(2) この規程は、平成27年5月17日より施行する

免 許 審 査 規 程

第 1 条 琉球古典音楽野村流音楽協会の師範、教師の免許審査は本規程による。

(免許審査)

第 2 条 本会の師範、教師になろうとする者は本会の免許審査委員会が行う審査を受けなければならない。

2 審査部門は歌・三線、笛、胡弓の各部門別とする。

3 課題曲は暗譜で演奏する。

(免許状)

第 3 条 本会の免許状は、前条の審査に合格した者に交付する。

(免許審査委員会)

第 4 条 本会に、師範免許審査委員会及び教師免許審査委員会をおく。

2 審査委員は沖縄県内各々 10 名、県外支部、国外支部各々若干名を理事会において選任し、審査委員会は選任された委員と会長でもって構成し、会長が委員長となる。

3 審査委員の任期は 1 年とする。

ただし、審査委員の年齢について教師審査委員は、満 70 歳まで、師範審査委員は、満 75 歳までとする。年齢の達する基準日は当該年度の 3 月 31 日とする。

(受験資格)

第 5 条 教師免許

本会に引き続き 5 年以上所属する満 20 歳以上の者で、教師又は師範並びに支部長が推薦した者。

2 師範免許

本会の教師免許を得てから 6 年（免許状交付時年度を含む）以上の会員で、師範並びに支部長が推薦する本会の教師であること。

3 受験資格の特例については、理事会の承認を得なければならない。

(審査免許の方法)

第 6 条 教師免許

(1) 教師免許は第 (2) 号の課題曲イ、ロの中からそれぞれ一節を、各支部長で構成する運営委員会を設置して決定した同節を独唱して、実技の審査を受ける。

(2) 課題曲

イ 作田節、ちゃんな節、首里節、しょどん節、暁節、茶屋節。

ロ 干瀬節、子持節、散山節、仲風節、述懐節

(3) 満70歳以上の者(本会で芸歴8年以上)については審査委員会の選考で実技審査を免除することができる。年齢の達する基準日は審査委員会の選考会議の日の属する月の末日とする。

2 師範免許

師範免許は、人物考査と実技審査とし、人物考査に選考された後、実技審査を受ける。

(1) 人物考査

人物考査は次の事項に該当する者で、審査委員会で選考する。

イ 人柄、識見、技量共に優れた者。

ロ 子弟の養成に尽力した者。

ハ 本会の運営発展に尽力した者。

(2) 実技審査

実技審査は第(3)号の課題曲を、3名以内で斉唱又は独唱して審査を受ける。

ただし、教師免許取得後8年を経過した満75歳以上の者については、審査委員会の選考で実技審査を免除することができる。年齢の達する基準日は、審査委員会の選考会議の日の属する月の末日とする。

(3) 課題曲

長ちゃんな節・仲節を隔年交互とする

3 笛、胡弓部門の課題曲は、教師は、作田節、師範は茶屋節とし、各々1名で演奏し審査を受ける。なお、いずれも歌・三線の伴奏は、実演又は録音テープのうちから選択することができる。ただし、実演の場合は2名以内とする。

4 受験番号の抽選は、実技審査約2週間前とする。

5 県外支部会員は、前第1項、第2項に準じ県外支部審査委員会において、審査を受けることができる。

6 国外支部会員は、前第1項、第2項に準じ国外支部審査委員会において、審査を受けることができる。

その際、実技審査に関して審査委員会は演奏をカセットテープに録音(伴奏なし)し、申請書、教師、師範並びに支部長の推薦書と録音テープを添えて会長に免許状交付の申請をする。実技免除者についても、同様(ただし録音テープは不要)とし、会長は免許審査規程に基づき免許状を交付する。

(選考基準)

第 7 条 実技審査の選考基準は調絃、拍子、音程、弾奏、声出し、声切り、姿勢、発想、発声、発音、節入りとし、調絃(音高)は自由とする。

(合格基準)

第 8 条 合格基準は審査委員会において定める。

(審査期日)

第 9 条 免許審査は毎年 1 回これを行う。審査期日は理事会で定め、2 箇月前に各支部に通達する。

(合格発表)

第 10 条 各審査委員会は審査終了後速やかに協議して合格者を決定し発表する。

(免許状交付)

第 11 条 免許状は総会において交付する。

(受験料並びに免許状交付料)

第 12 条 受験料及び免許状交付料は下記のとおりとする。

(1) 受験料は 10,000 円とする。ただし、国外は半額とする。

(2) 免許交付料は、教師 20,000 円、師範 30,000 円とする。

(委任) 第 13 条 本規程運用上必要な事項は別に定める。

附 則

(1) この規程は昭和 51 年 4 月 1 日に実施する。

(2) この規程は昭和 59 年 5 月 20 日に一部改正し、当日施行する。

(3) この規程は昭和 62 年 3 月 1 日に一部改正し、当日施行する。

(4) この規程は平成 5 年 5 月 16 日に一部改正し、当日施行する。

(5) この規程は平成 11 年 5 月 6 日に一部改正し、当日施行する。

(6) この規程は平成 12 年 5 月 21 日に一部改正し、当日施行する。

(7) この規程は平成 17 年 5 月 20 日に一部改正し、当日施行する。

(8) この規程は平成 17 年 9 月 10 日に一部改正し、当日施行する。

(9) この規程は平成 21 年 5 月 17 日に一部改正し、当日施行する。

(10) この規程は平成 23 年 5 月 15 日に一部改正し、当日施行する。

第 6 条第 2 項第 3 号の課題曲について、平成 23 年度は仲節とする。

(注：本規程は縦書きであるが資料の体裁上横書きにした。)

(11) この規程は平成 27 年 5 月 17 日に一部改正し、当日施行する。

(12) この規程は平成 29 年 5 月 21 日に一部改正し、当日施行する。

(13) この規程は、令和 2 年 5 月 17 日に一部改正し、当日施行する。

(14) この規程は、令和 5 年 5 月 21 日に一部改正し、当日施行する。

琉球古典音楽 野村流音楽協会 組踊及び舞踊地謡研修部規程

1. 名 称

琉球古典音楽 野村流音楽協会 組踊及び舞踊地謡研修部と称する。

2. 目 的

会則第5条の規程に基づき、組踊及び舞踊地謡並びに伴奏者の育成強化をはかることを目的とする。

3. 組織及び運営

研修部の組織及び運営については次のとおりとする。

(1) 各研修部に次の役員をおく。

イ、部長	1名
ロ、副部長	1名
ハ、書記	1名
ニ、会計	1名
ホ、幹事	若干名

(2) 役員は部員の中から互選し任期は2年とする。ただし、再任は妨げない。

(3) 研修に必要な指導助言者若干名を委嘱する。

(4) 第(1)号の役員は、幹事会を構成し部の運営にあたる。

(5) 各部の部員数は三線40名、箏10名、その他器楽若干名を限度とする。

4. 部員の資格条件

部員の資格条件は次の通りとする。

(1) 入部資格は教師以上の資格を有し、舞踊研修部員は満55歳、組踊研修部員は満60歳までの者とする。ただし、年齢の達する基準日は、申請書を提出する年の4月1日とする。

(2) 音声良好にして歌唱力を有し、地謡活動に積極的で、かつ、謙虚なるもの。

(3) 支部長の推薦を経て本部幹事会で決める。

(4) 在部年数は両部共5年とする。

(5) 同時に両部の部員となることはできない。

5. 事 業

第2項の目的を達成するため次の事業を行う。

(1) 月例研修会を行う。

(2) 年1回の定期研修発表会を行うことができる。ただし、本会の事業日程に組入れ本会の事業として行う。

(3) 必要に応じ自主公演をすることができる。

6. 伴奏者

- (1) 伴奏者については、所属団体長の推薦を経て、会長の承認を得るものとする。
- (2) 箏伴奏者の在部年数を5年とし、入部年齢は原則として45歳までのものとする。ただし、年齢の達する基準日は、申請書を提出する年の4月1日とする。

7. その他研修活動に必要な事項については、そのつど会長と協議する。

8. 部員の義務

- (1) 部員は積極的に研修会に参加しなければならない。
- (2) 部員は、無断で連続3回以上欠席した場合及び年間出席率50%に達しないものは自動的に部員の資格を失う。

9. 修了者の義務

修了者は、研修部の必要に応じ協力しなければならない。

- (1) 修了者は、研修部において得た技能を支部の要求に応じ協力しなければならない。

附 則

- (1) この規程は昭和60年4月1日より実施する。
- (2) この規程は平成2年4月28日に一部改正し、当日施行する。
- (3) この規程は平成9年12月30日に一部改正し、当日施行する。
- (4) この規程は平成21年5月17日に一部改正し、当日施行する。
(注・本規程は縦書きであるが資料の体裁上横書きにした。)
- (5) この規程は平成27年5月17日に一部改正し、当日施行する。

旅費に関する規程

(目 的)

第1条 本規程は会則第23条に基づき、会員が公務のため出張する場合の旅費支給に必要な事項を定めることを目的とする。

(旅費の支給)

第2条 本会の会員が公務出張するときには、旅費を支給する。

(支給する額)

第3条 前条の規定により旅費支給については、次の額を支給する。

- (1) 交通費一回……………1,000 円(但し、県内に限る)
- (2) 航空賃、船賃等……………実費
- (3) 日 当……………3,000 円(但し、宿泊を伴うもの)
- (4) 宿泊料……………10,000 円(但し、県内は実費とする。)

(出張命令)

第4条 出張は、会長の委任で行なう。

- 2 委任権者の会長は、出張者への伝達手段として、文書、電話等によって行なうこととする。

(協 議)

第5条 その他旅費に必要な事項については、その都度会長と協議する。

附 則

- 1 この規程は、平成25年4月1日より施行する。

表彰に関する規程

(目 的)

第 1 条 本規程は会則第 2 3 条に基づき、表彰に関する必要な事項を定めることを目的とする。

(被表彰者)

第 2 条 被表彰者は、会員又は他団体等とする。

(表彰の基準)

第 3 条 被表彰者が以下の事項についてその活動が顕著なものとする。

- (1) 本部・支部の組織運営に功績があった者
- (2) 所属会員が 15 名以上で 5 年以上継続している研究所長
- (3) 教師・師範免許審査員の任期を満了した者
- (4) 人格円満にして人間性豊かな人格高潔な者
- (5) 本会の発展に協力、寄与した個人及び団体
- (6) その他

(賞状等の授与)

第 4 条 表彰は、表彰状、感謝状、功労賞等を贈呈し、記念品を添えることができる。

(表彰の時期)

第 5 条 表彰は、総会又は記念事業の開催をもって行う。

(表彰の手続き)

第 6 条 表彰の手続きについては、選考委員会を設置し、同委員会において被表彰者を決定し、理事会、相談役会に報告する。但し、第 3 条第 2 号及び第 3 号の規定については執行部で対応する。

(選考委員会)

第 7 条 選考委員会は、本会の正副会長及び幹事の中から若干名をもって組織し、会長が委員長となる。

附 則

- 1. この規程は、平成 26 年 5 月 18 日より施行する。
- 2. 第 3 条第 2 号については、平成 21 年度より起算する。

工工四監修・編集・校正等に関する要綱

(趣 旨)

第1条 この要綱は、親しみ易く、正確な工工四の発行を目指し、監修・編集・校正に係る円滑な事務の推進を図り、古典音楽の普及と琉球古典音楽野村流音楽協会の発展に資することを趣旨とする。

(委員会の設置)

第2条 前条の趣旨を達成するため、次の各種委員会を設置する。

- (1) 工工四監修委員会
- (2) 工工四編集校正委員会

(定 義)

第3条 監修・編集並びに校正は、次のように定義する。

- (1) 監修とは、伊差川世瑞・世禮國男共著「聲樂譜附工工四」の歴史と、特徴を踏まえ、工工四のあり方を研究し、随時工工四の絃楽譜声楽譜並びに歌詞等の記述、編集等の監督をすることをいう。
- (2) 編集とは、特定の目的の下に、情報を収集し、整理、校正することをいう。
- (3) 校正とは、校正刷りと原稿を比べ合わせて、活字の組み誤り、不備等を正し、印刷に付すことをいう。

(委員長・副委員長の選任並びに幹事)

第4条 委員会の迅速な運営を図るため、それぞれ委員長、副委員長・幹事を置く。

- 2 委員長・副委員長は、委員の互選により選出する。
- 3 幹事は執行部事務局員から一人充てる。

(委員長・副委員長並びに幹事の役割)

第5条 委員長・副委員長並びに幹事の役割は、つぎのとおりとする。

- (1) 委員長は、委員会の意見を集約する。
- (2) 副委員長は、委員長を補佐し、委員長事故あるときは、これを代理する。
- (3) 幹事は、委員会に必要な資料を整理し、提供し、協議事項を記録保存する。

(委員の委嘱)

第6条 委員の委嘱は、幹事会、理事会の承認のもと会長が委嘱する。

(委員の任期)

第7条 委員の任期は、2年とする。ただし、再任は妨げない。

(委任事項)

第8条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

- (1) この要綱は、平成20年9月27日より施行する。
- (2) この要綱は、平成24年5月20日に一部改正し、同日施行する。

琉球古典音楽 野村流音楽協会「資料収集編集委員会」 設置要綱

（趣 旨）

- 1、 この要綱は、琉球古典音楽野村流音楽協会会則第5条第1項第(1)号及び第(7)号に基づき「資料収集編集委員会」（以下「委員会」という。）の組織、運営その他必要な事項を定める。

（設 置）

- 2、 資料等の収集・編集の円滑な推進のため「資料収集編集室」を会長所在地に設置する。

（任 務）

- 3、 委員会は、会長の諮問に応じてつぎの各号に掲げる事項を推進する。
 - (1) 資料等の収集・保存・活用に関すること。
 - (ア) 本会が発行する工工四及び会誌その他の発刊物並びに琉球音楽に関する文献・資料等の収集
 - (イ) 本会の活動に係る文書・写真・映像等の保存
 - (ウ) 「琉球古典音楽 野村流音楽協会アーカイブ」を設置し、会員並びに一般愛好者の活用を図る。
 - (2) 会誌『ちゃんな』の発刊に関すること。
 - (ア) 会誌『ちゃんな』編集の基本方針の設定
 - (イ) 会誌『ちゃんな』編集に関する資料収集及び執筆依頼

- (3) その他、会則第5条第1項第(1)号及び第(7)号の推進に関すること。

（組 織）

- 4、 委員会は、10名以内で組織し会員のうちから理事会で選出し、会長が委嘱する。

（任 期）

- 5、 委員の任期は2年とする。ただし、再任することができる。
委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の在任期間とする。

（委員長及び副委員長）

- 6、 委員会に委員長及び副委員長を置く。
 - (2) 委員長及び副委員長は委員の互選により定める。
 - (3) 委員長は委員会を代表し、会務を総理する。
 - (4) 副委員長は委員長を補佐し、委員長が欠けたときはその職務を代理する。

(幹 事)

- 7、 委員会に幹事を置き、委員会に関する事務を担当する。
- 8、 この要綱に定めるもののほか、委員会に関し必要な事項は会長が定める。

附 則

- (1) この要綱は、野村流音楽協会会誌『ちゃんな』編集委員会(平22年5月16日施行)を発展的に改定し、平成24年5月20日に施行する。
- (2) この要綱は平成27年5月17日に一部改正し、当日施行する。

【令和5年度 組踊地謡研修部 修了者】

修了 番号	氏 名	支部名	部門	修了 番号	氏 名	支部名	部門
3 3 5	比 嘉 啓 太	名 護	三 線	3 3 6	上 西 真 里	具志川	胡 弓
3 3 7	糸 数 美 華	関 西	笛	3 3 8	松 本 久 子	浦 添	箏

【令和5年度 舞踊地謡研修部 修了者】

修了 番号	氏 名	支部名	部門	修了 番号	氏 名	支部名	部門
3 9 5	中 島 美 幸	那 覇	三 線	3 9 6	辻 村 智 美	北 谷	三 線
3 9 7	與 儀 憲 助	コ ザ	三 線	3 9 8	池 宮 城 武 廣	コ ザ	三 線
3 9 9	山 城 綾 子	コ ザ	三 線	4 0 0	金 城 未 紗 子	コ ザ	三 線
4 0 1	山 城 艶 子	具志川	三 線	4 0 2	新 屋 毅	具志川	三 線
4 0 3	江 守 孝 之	具志川	三 線	4 0 4	読 谷 山 た か 子	具志川	三 線
4 0 5	宮 里 光 次	名 護	三 線	4 0 6	越 沼 美 和 子	名 護	三 線
4 0 7	久 手 堅 玲 奈	関 東	三 線	4 0 8	新 保 貴 子	関 東	三 線
4 0 9	岡 本 優 子	関 東	三 線	4 1 0	久 保 田 清 美	関 東	三 線
4 1 1	柳 沢 乙 穂	関 東	三 線	4 1 2	宮 里 恵 子	宜野湾	笛
4 1 3	倉 原 智 子	関 西	笛	4 1 4	伊 波 悦 子	幸太鼓	太 鼓
4 1 5	與 那 覇 敦 子	幸太鼓	太 鼓				



【令和5年度 師範免許合格者】

《三線の部》

課題曲:「仲 節」

免許 番号	氏 名	支部名	免許 番号	氏 名	支部名	免許 番号	氏 名	支部名
1315	上 田 徹 也	読 谷	1316	福 原 武	読 谷	1317	辻 村 智 美	北 谷
1318	翁 長 篤 司	コ ザ	1319	島 袋 順 一	コ ザ	1320	仲 嶺 清	コ ザ
1321	久手堅 玲 奈	関 東	1322	喜友名 朝 吉	コ ザ	1323	宮 城 一 夫	宜 野 湾
1324	赤 嶺 整 伸	コ ザ	1325	仲 村 盛 政	関 東	1326	棚 原 照 子	ブラジル

【胡弓・笛】課題曲:「茶屋節」

《胡弓の部》

34	宗 岡 高 石 川
----	-----------

《笛の部》

26	棚 原 正 名 護
----	-----------



師範審査委員

【令和5年度 教師免許合格者】

《三線の部》

課題曲:「作田節」「子持節」

免許 番号	氏 名	支部名	免許 番号	氏 名	支部名	免許 番号	氏 名	支部名
3073	中 村 敏 子	九 州	3074	知 花 令 磨	読 谷	3075	知 花 栄 汰	読 谷
3076	又 吉 彪 雅	読 谷	3077	中 谷 拓 実	宜野湾	3078	新 里 拓 海	宜野湾
3079	吉 満 楓 立	コ ザ	3080	新 城 将 史	コ ザ	3081	伊波陽香留	読 谷
3082	喜友名朝樹	コ ザ	3083	中 本 佳 伸	コ ザ	3084	鈴 木 茜	コ ザ
3085	新 里 有 未	コ ザ	3086	鈴木 隆広	コ ザ	3087	玉 城 福 美	名 護
3088	古 賀 郁 子	那 覇	3089	島 袋 浩 和	那 覇	3090	篠 原 正	那 覇
3091	仲 村 博 樹	具志川	3092	谷 山 美 紀	関 西	3093	平田美智子	那 覇
3094	佐久川功大	浦 添	3095	新 垣 昇	関 東	3096	宗 像 祥 子	関 東
3097	長 嶺 朝 弘	那 覇	3098	伊良波幸政	宜野湾	3099	金 城 徳 子	那 覇

《笛の部》

51	與 那 覇 徹	コ ザ	52	太 田 順 子	那 覇
----	---------	-----	----	---------	-----



教師審査委員
＜沖縄本島会場＞

＜関東会場審査委員＞下地健志・宗岡高・沼崎裕二・新保貴子

令和5年度 第17回琉楽奨励賞 合格者

【会長賞】 14名

氏 名	学校名	学年	指導者	支 部
屋嘉比佐和	本部中学校	2	内間清彦	本部
千野 心海	本部中学校	2	内間清彦	本部
富田 百々花	大宮中学校	2	吉元博昌・和男	名護
知念 清太	具志川東中学校	2	知念勝三	具志川
山城 希織	読谷中学校	2	屋良朝清	読谷
赤嶺 心音	沖縄東中学校	2	小嶺克仁	コザ
鍋倉 貴司	コザ中学校	1	内間安亨	コザ
上運天拓都	伊波中学校	1	糸数くるみ	石川
大城和奏	瀬底小学校	6	大城直人	本部
上原一花	本部中学校	1	大城直人	本部
大城愛琉	本部中学校	1	大城直人	本部
仲野心琴	具志川東中学校	2	神田米三	具志川
野原愛依	浦添中学校	1	神田米三	具志川
山田雅	金武中学校	1	神田米三	具志川

【金賞】 40名

氏 名	学校名	学年	指導者	支部
上地 秋寧	読谷小学校	6	照屋早月	読谷
徳田 佳音	読谷中学校	1	照屋早月	読谷
伊豆味 琉生	大北小学校	5	松田宏美	名護
屋嘉比 康虎	瀬底小学校	5	内間清彦	本部
照屋 亜美	名護小学校	3	島袋功	名護
照屋 莉乃	名護小学校	5	島袋功	名護
仲宗根 重拓	高江洲中学校	2	仲間稔	具志川
佐次田 来未	宮里中学校	1	伊禮薫	具志川
大城 月乃	あげな中学校	3	古謝義和	具志川
松田 来夢	あげな中学校	3	古謝義和	具志川
兼城 瑠莉亜	田場小学校	5	徳門清春	具志川
比嘉 優妃奈	中原小学校	3	又吉章盛	具志川
上間 颯太	沖縄高専	1	吉元博昌・和男	名護
上間 さくら	名護小学校	6	吉元博昌・和男	名護
内間 陽大	今帰仁中学校	1	吉元博昌・和男	名護
宇榮原 穂和	東江中学校	2	岸本順子	名護
仲宗根 小姫	高江洲中学校	1	仲間稔	具志川
山城 愛樹	読谷小学校	2	屋良朝清	読谷

玉城 結伍	美東小学校	6	玉城巖	宜野湾
玉城 稜大	美東小学校	3	玉城巖	宜野湾
宇根底 咲希	中城南小学校	6	源河朝仁	コザ支部
金城 もえ	島袋小学校	3	金城光信	コザ支部
中島 和奏	久米島西中学校	2	中島美幸	那覇支部
末吉 花	球美中学校	2	中島美幸	那覇支部
大城 陽輝	桑江中学校	1	内間安亨	コザ支部
仲宗根 歩澄	宜野湾中学校	2	新城康弘	宜野湾
真栄平 倖和	宜野湾中学校	2	新城康弘	宜野湾
宮良 笑里菜	宜野湾中学校	2	新城康弘	宜野湾
島袋 愛麻	伊波小学校	5	糸数くるみ	石川
仲西 汐癒	宮森小学校	5	糸数くるみ	石川
比嘉 小楨	伊波中学校	3	糸数くるみ	石川
比嘉 一晴	伊波中学校	1	糸数くるみ	石川
比嘉 愛	具志川高校	2	真栄喜清次	石川
安次富 由朱	具志川高校	3	真栄喜清次	石川
大城 栄舞	屋部中学校	1	新城浩基	名護
大城 奏楽	瀬底小学校	4	大城直人	本部
大城 昇馬	瀬底小学校	4	大城直人	本部
上原 真花	瀬底小学校	3	大城直人	本部
大城 芽依	瀬底小学校	5	大城直人	本部
又吉 媛日	具志川東中学校	2	神田米三	具志川

【銀 賞】 49名

氏 名	学校名	学年	指導者	支部
仲宗根 凧咲	中原小学校	4	仲間稔	具志川
上門 優音	勝連小学校	5	徳門清春	具志川
兼城 莉杏	与那城小学校	3	徳門清春	具志川
ジャバ莉月サィア	古堅中学校	1	屋良朝清	読谷
伊禮 実月	田場小学校	4	山城艶子	具志川
當銘 姫乃	高江洲小学校	4	山城艶子	具志川
當銘 妃南詩	高江洲小学校	2	山城艶子	具志川
又吉 優梨彩	中原小学校	3	山城艶子	具志川
座喜味 盛大	北美小学校	3	山城艶子	具志川
福原 李穂	高江洲小学校	3	山城艶子	具志川
呉屋 結奈	古堅小学校	4	照屋早月	読谷
呉屋 茉里華	古堅中学校	1	照屋早月	読谷
ドーティ マリシア	読谷中学校	1	安室松信	読谷
伊豆味 葵	大北小学校	2	松田宏美	名護

喜久山 愛璃	中城南小学校	4	源河朝仁	コザ
知念 美意子	沖縄東中学校	2	上地安英	コザ
近藤 真主	コザ小学校	6	西村正吉	コザ
新田 保尚	コザ小学校	6	西村正吉	コザ
宇根 美羽	球美中学校	1	中島美幸	那覇
中村 真心	コザ中学校	2	内間安亨	コザ
宮城 星那	北谷中学校	2	内間安亨	コザ
高江洲 杏寿	諸見小学校	6	内間安亨	コザ
島袋 愛香	諸見小学校	2	内間安亨	コザ
島袋 美癒音	コザ中学校	2	内間安亨	コザ
新城 愛莉	嘉数小学校	4	新城康弘	宜野湾
志甫 蒼介	はごろも小学校	5	新城康弘	宜野湾
川崎 有眞	琉大附属小学校	6	新城康弘	宜野湾
与那嶺 瑛翔	宜野湾小学校	5	新城康弘	宜野湾
塩野 孝泰	宜野湾小学校	4	新城康弘	宜野湾
池村 琳愛	大謝名小学校	5	新城康弘	宜野湾
松竹 菜月	大謝名小学校	4	新城康弘	宜野湾
濱元 悠世	真志喜中学校	1	新城康弘	宜野湾
與那嶺 栄路	兼次小学校	6	与那嶺直樹	今帰仁
仲里 清太郎	兼次小学校	6	与那嶺直樹	今帰仁
須藤 暖人	兼次小学校	6	与那嶺直樹	今帰仁
天久 ことは	兼次小学校	6	与那嶺直樹	今帰仁
大城 七海	兼次小学校	6	与那嶺直樹	今帰仁
内間 雪帆	伊波小学校	4	糸数くるみ	石川
東 心結	城前小学校	5	糸数くるみ	石川
久志 麻彩柚	山内小学校	4	糸数くるみ	石川
山内 盛聖	山内小学校	4	糸数くるみ	石川
糸数 琉里羽	伊波小学校	4	糸数くるみ	石川
仲本 陽菜	南風原小学校	6	渡慶次亨	那覇
高崎 蒼介	瀬底小学校	2	大城直人	本部
前泊 英尚	瀬底小学校	6	大城直人	本部
前泊 英昇	瀬底小学校	4	大城直人	本部
安里 琉貴	北玉小学校	5	伊計秀子	北谷
宮城 葵	南風原高校	3	仲村渠達也	コザ
藏元 蓮	真志喜中学校	1	新城康弘	宜野湾

【銅 賞】 68名

氏 名	学校名	学年	指導者	支部
伊波 由彩	古堅南小学校	6	屋良朝清	読谷
比嘉 いち楓	読谷中学校	1	屋良朝清	読谷

町田 菜奈江	沢岷小学校	3	新垣和則	浦添
崎濱 星七	大宮小学校	2	島袋功	名護
照屋 希歩	名護小学校	1	島袋功	名護
岸本 望乃叶	名護高校	3	島袋功	名護
上間 健士郎	浦西中学校	1	島袋功	名護
當銘 由凰	津覇小学校	2	山城艶子	具志川
桑鶴 志歩	あげな小学校	4	古謝義和	具志川
桑鶴 歩	あげな小学校	4	古謝義和	具志川
源古 綾花	あげな小学校	5	古謝義和	具志川
荒木 翠	あげな小学校	5	古謝義和	具志川
渡慶次 蒼	美里小学校	2	糸数昌治・安里トシ子	コザ
波平 心和	喜納小学校	4	照屋早月	読谷
大兼久 陽菜	屋部小学校	6	吉元博昌・和男	名護
小林 愛奈	南風原小学校	4	大城守政	那覇
平良 心鼓	南風原小学校	3	大城守政	那覇
宮里 穂音奈	南風原小学校	4	大城守政	那覇
ドーティ リアム	喜納小学校	3	安室松信	読谷
阿比留 央仁	瀬底小学校	4	内間清彦	本部
玉城 楓佳	美東小学校	2	玉城巖	宜野湾
池原 心寧	うんな中学校	2	知念政智	石川
池原 心海	恩納村小学校	6	知念政智	石川
池原 心愛	恩納村小学校	4	知念政智	石川
池原 心希	恩納村小学校	2	知念政智	石川
玉城 陽匡	球陽高校	2	金城光信	コザ
keahi Ingram ケアヒ イングラム	Voyager ヴォイジャー 中	1	金城光信	コザ
keano Ingram ケアノ イングラム	Voyager ヴォイジャー 小	3	金城光信	コザ
川畑 善士朗	安慶田小学校	3	久場良昌	コザ
野村 癒華	大岳小学校	6	中島美幸	那覇
山里 心花	大岳小学校	6	中島美幸	那覇
伊禮 晴貴	諸見小学校	5	内間安亨	コザ
真栄平 玲音	宜野湾小学校	3	新城康弘	宜野湾
比嘉 まりな	大山小学校	3	新城康弘	宜野湾
宮良 彩衣里	はごろも小学校	4	新城康弘	宜野湾
池原 慎理	大謝名小学校	4	新城康弘	宜野湾
米須 心望	宜野湾小学校	3	新城康弘	宜野湾
又吉 香凜	宜野湾小学校	3	新城康弘	宜野湾
大西 佑奈	宜野湾小学校	3	新城康弘	宜野湾

上原 珠斗	兼次小学校	5	与那嶺直樹	今帰仁
日高 孝太	今帰仁小学校	5	与那嶺直樹	今帰仁
玉那覇 海湊	兼次小学校	5	与那嶺直樹	今帰仁
島袋 結衣	兼次小学校	5	与那嶺直樹	今帰仁
金城 竜琥	今帰仁小学校	5	与那嶺直樹	今帰仁
與那嶺 莉愛	普天間中学校	2	与那嶺直樹	今帰仁
濱崎 柚菜	本部小学校	6	与那嶺直樹	今帰仁
槌山 ハナ	兼次小学校	6	与那嶺直樹	今帰仁
嘉数 姫菜子	兼次小学校	6	与那嶺直樹	今帰仁
山城 陽愛	兼次小学校	6	与那嶺直樹	今帰仁
大城 雫	今帰仁小学校	4	与那嶺直樹	今帰仁
新里 真汰	兼次小学校	5	与那嶺直樹	今帰仁
宮城 莉衣奈	兼次小学校	5	与那嶺直樹	今帰仁
伊波 幸太郎	伊波小学校	5	糸数くるみ	石川
佐次田 莉子	城前小学校	4	糸数くるみ	石川
深田 楽	嘉芸小学校	4	糸数くるみ	石川
祝嶺 大知	山内小学校	4	糸数くるみ	石川
大城 ひなた	恩納村小学校	4	糸数くるみ	石川
仲本 明衣翔	南風原小学校	3	渡慶次亨	那覇
奥浜 眞那斗	中城中学校	1	下地彩香	コザ
宇根 裕太郎	北中城小学校	6	下地彩香	コザ
中西 そよ	北中城小学校	5	下地彩香	コザ
安谷屋 颯太	北谷小学校	4	伊計秀子	北谷
翁長 千代路	浜川小学校	4	伊計秀子	北谷
新垣 玲	北谷第二小学校	5	伊計秀子	北谷
福原 悠友	高江洲小学校	1	山城艶子	具志川
足立 旺亮	琉大教育学部附 属小学校	3	足立啓子	コザ
桃原 英士	桑江中学校	1	松田盛	北谷
桃原 一樹	浜川小学校	3	松田盛	北谷

【胡弓・金賞】

伊佐 夏希	具志川高校	1	伊禮薫	具志川支部
伊佐 渚紗	宮里中学校	3	伊禮薫	具志川支部
桑鶴 美海	具志川商業高校	1	古謝義和	具志川支部

【笛・金賞】

宮城 葵	南風原高校	3	中野夢	名護支部
------	-------	---	-----	------

第57回琉球古典芸能コンクール受賞者

※（ ） 師匠名

◆最高賞【三線】 12名

那覇支部 太田順子（長嶺ルーシー）

浦添支部 西平里枝子（松川亨）

コザ支部 照屋盛人（糸数昌治） 町田キヨ子（糸数昌治） 大城みゆき（糸数昌治） 呉屋広正（島袋英治）

具志川支部 祖堅勇作（徳門清春） 親田鈴（徳門清春）

石川支部 岡村千賀子（松田博治）

名護支部 津波仁（島袋功） 玉城千佳（島袋功）

関東支部 二子石玲子（小那覇安陸）

◆最高賞【胡弓】 1名

具志川支部 伊佐七海（伊禮薫）

◆優秀賞【三線】 20名

那覇支部 石橋千代美（宮城武碩） 平田美智子（與那嶺靖） 仲村渠幸代（大城守政） 古賀郁子（長嶺ルーシー）

浦添支部 佐久川功大（新垣和則） 友永篤志（仲嶺盛文）

コザ支部 喜友名朝樹（與那覇徹） 中本佳伸（與那覇徹） 石川両子（山内昌也） 新城将史（宮平永次郎）

具志川支部 仲村博樹（池宮城克成） 平良榮順（安慶名栄）

読谷支部 又吉彪雅（眞榮田徹也） 知念令磨（眞榮田徹也）

名護支部 玉城福美（大城輝吉）

関東支部 久高米子（七里元晴）

関西支部 谷山美紀（前田傳松） 寺田淳子（仲村盛之助）

九州支部 平嶋弘信（原口忠）

ハワイ支部 小谷ステーシーさつき（屋宜盛一）

◆優秀賞【笛】1名

名護支部 赤嶺順子（中野夢）

◆優秀賞【胡弓】3名

具志川支部 瑞慶山姫菜（古謝義和）伊佐夏希（伊禮薫）久保駿太郎（伊禮薫）

◆新人賞【三線】36名

那覇支部 沖吉輝也（宮城武碩）大湾タケ（渡慶次亨）

浦添支部 前田成子（仲嶺盛文）

宜野湾支部 宮城琴羽（源河朝仁）宮城柚羽（源河朝仁）

コザ支部 上間勝大（山内昌也）江幡侑奈（山内昌也）小野剛揚（與那覇徹）黎立語（與那覇徹）五百井音（山内昌也）安村ゆかり（糸数昌治）大城勇也（與那覇徹）呉屋幸乃（與那覇徹）

北谷支部 新垣琉空（松田盛）

具志川支部 池宮城乃羽星（池宮城克成）立石哲也（又吉章盛）比嘉泰寛（伊禮薫）

石川支部 八武崎羽美（糸数くるみ）伊波芳和（照屋勝武）儀保裕珠葉（糸数くるみ）田仲茂（照屋勝武）新垣結彩（糸数くるみ）

読谷支部 松田葵亜楽（池原憲勝）大西萌衣さん（不明）

名護支部 金城那奈（金城ヤス子）池田武英（新城浩基）

今帰仁支部 内間允比古（与那嶺直樹）仲本辰也（与那嶺直樹）與那嶺将義（与那嶺直樹）宮城朝太（与那嶺直樹）徳永真里（与那嶺直樹）

関東支部 芦田渚（岡村祐介）加藤和秀さん（下地健士）

関西支部 平本弓恵（新城浩文）岸本知子（倉原智子）

九州支部 川越裕子（原口忠）

◆新人賞【笛】3名

具志川支部 玉城正智（知名禮子）渡部敦子（中野夢）大城牧子（中野夢）

◆新人賞【胡弓】2名

具志川支部 桑鶴美海（古謝義和）宮里恵子（伊禮薫）

第8回おきなわ伝統芸能「若衆芸術祭」

令和6年2月12日（月・祝日）琉球新報ホール

「独唱」

氏 名	学校名	学年	指導者	支 部	表 彰
兼謝名 百花	読谷中学校	1	屋良朝清	読谷支部	若衆優秀賞 若衆大賞 県知事賞 若衆優秀賞 琉球新報賞 若衆優秀賞
比嘉 航政	中原小学校	5	又吉章盛	具志川支部	
永野 鈴維寧	安慶田中学校	2	久場良昌	コザ支部	
儀保 裕珠菜	越来中学校	1	糸数くるみ	石川支部	
知念 清太	具志川東中学校	2	知念勝三	具志川支部	
山城 希織	読谷中学校	2	屋良朝清	読谷支部	
徳田 佳音	読谷中学校	1	照屋早月	読谷支部	
大城 昇馬	瀬底小学校	4	大城直人	本部支部	
中島 和奏	久米島西中学校	2	中島美幸	那覇支部	

地謡 「秋の踊り」と「斉唱」

上運天 拓都	伊波中学校	1	糸数くるみ	石川支部	団体：若衆優秀賞
比嘉 一晴	伊波中学校	1	糸数くるみ	石川支部	
屋嘉比 康虎	瀬底小学校	5	内間清彦	本部支部	
大城 昇馬	瀬底小学校	4	大城直人	本部支部	
知念 清太	具志川東中学校	2	知念勝三	具志川支部	

地謡 「上り口説」と「斉唱」

末吉 花	球美中学校	2	中島美幸	那覇支部	団体：若衆優秀賞
宇榮原 穂和	東江中学校	2	岸本順子	名護支部	
大城 奏楽	瀬底小学校	4	大城直人	本部支部	
大城 愛琉	本部中学校	1	大城直人	本部支部	
上地 秋寧	読谷小学校	6	照屋早月	読谷支部	

斉唱（かぎやで風節・恩納節・かたみ節）

兼城 瑠莉亜	田場小学校	5	徳門清春	具志川支部	団体：若衆優秀賞
宇根底 咲希	中城南小学校	6	源河朝仁	宜野湾支部	
大城 和奏	瀬底小学校	6	大城直人	本部支部	
千野 心海	本部中学校	2	内間清彦	本部支部	
島袋 愛麻	伊波小学校	5	糸数くるみ	石川支部	

屋嘉比 佐和	本部中学校	2	内間清彦	本部支部
上運天 拓都	伊波中学校	1	糸数くるみ	石川支部
比嘉 一晴	伊波中学校	1	糸数くるみ	石川支部
上原一花	本部中学校	1	大城直人	本部支部
富田百々花	大宮中学校	2	吉元博昌・和男	名護支部
末吉 花	球美中学校	2	中島美幸	那覇支部
宇榮原 穂和	東江中学校	2	岸本順子	名護支部
大城 奏楽	瀬底小学校	4	大城直人	本部支部
大城 愛琉	本部中学校	1	大城直人	本部支部
上地 秋寧	読谷小学校	6	照屋早月	読谷支部
大城 昇馬	瀬底小学校	4	大城直人	本部支部
徳田 佳音	読谷中学校	1	照屋早月	読谷支部

舞踊・太鼓 賛助出演

舞踊（秋の踊り）	國場海里、奥間愛梨
舞踊（上り口説）	与那嶺柚、安富祖美咲、池宮城由奈、儀武舞音
玉城流うるま会儀武八重子琉舞道場	
太鼓	吉田日陽 幸太鼓の会 吉田美津子太鼓道場



表彰式（琉球新報ホール）

入 部 申 請 書

令和 年 月 日

琉球古典音楽野村流音楽協会
会 長 糸数 昌治 殿

組 踊 ・ 舞 踊 地謡研修部への入部を申請いたします。

部 門	三 線 ・ 笛 ・ 胡 弓 ・ 箏 ・ 太 鼓		
資 格	免 許 番 号	取 得 年 月 日	
教 師・師 範		昭和・平成・令和 年 月 日	
ふ り が な			
氏 名	印		
生 年 月 日	昭 和 ・ 平 成	年	月 日
郵 便 番 号	—		
住 所			
携帯電話番号			

上記の会員の入部について推薦いたします。

支部

師 匠 印

琉球古典音楽野村流音楽協会 支部長 印

琉球箏曲興陽会 ・ 幸太鼓の会 ・ ()の会

会 長 印

琉球古典音楽 野村流音楽協会 歴代会長一覧

歴代	会長名	在 任 期 間	西 暦	年
初代	伊 差 川 世 瑞	大正 13 年 10 月 31 日～昭和 12 年 3 月 2 日	1924～1937	13
2 代	伊 差 川 開 栄	昭和 12 年 5 月 1 日～昭和 15 年 7 月 日	1397～1940	3
戦時中～戦後		昭和 15 年 7 月 日～昭和 24 年 6 月 日	1940～1949	9
3 代	与 那 覇 政 牛	昭和 24 年 7 月 1 日～昭和 27 年 4 月 30 日	1949～1952	3
4 代	友 寄 隆 賀	昭和 27 年 5 月 1 日～昭和 27 年 9 月 14 日	1952～1954	2
5 代	池 宮 喜 輝	昭和 27 年 9 月 15 日～昭和 38 年 5 月 31 日	1954～1963	9
6 代	幸 地 亀 千 代	昭和 38 年 6 月 1 日～昭和 44 年 9 月 24 日	1963～1969	6
7 代	西 島 宗 二 郎	昭和 45 年 4 月 1 日～昭和 47 年 3 月 31 日	1970～1972	2
8 代	仲 田 清	昭和 47 年 4 月 1 日～昭和 48 年 12 月 29 日	1972～1973	1
9 代	島 袋 正 雄	昭和 49 年 4 月 1 日～昭和 59 年 5 月 30 日	1974～1984	10
10 代	玉 城 宗 吉	昭和 59 年 6 月 1 日～平成 2 年 5 月 30 日	1984～1990	6
11 代	松 田 健 八	平成 2 年 6 月 1 日～平成 8 年 3 月 31 日	1990～1996	6
12 代	伊 良 波 幸 善	平成 8 年 4 月 1 日～平成 14 年 3 月 31 日	1996～2002	6
13 代	喜 友 名 朝 宏	平成 14 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日	2002～2008	6
14 代	照 屋 勝 義	平成 20 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日	2008～2012	4
15 代	神 田 米 三	平成 24 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日	2012～2016	4
16 代	長 浜 眞 勇	平成 28 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日	2016～2020	4
17 代	宮 城 勝 秀	令和 2 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日	2020～2024	4
18 代	糸 数 昌 治	令和 6 年 4 月 1 日～	2024～	

